

ふるさと上越ネットワーク会報

NO.29 2010.7



巻頭言

Jネット会長

和久井博

「百亀の浮木（もうきのふぼく）、優曇華（うどんげ）の花、ここで会ったが百年目！」と言るのは時代劇などで、探し求めている仇と出会ったときの有名なセリフ。優曇華の花は三千年に一度しか咲かないと言うから、殆ど起こらない偶然を意味しているようだ。百年は永久と同じ意味で、香港の租借が九十九年間になっていたのは、百年を『永久』と考えていたためだ。しかし実際に九十九年がたつてしまい、英国が歯きしりするも本当に返還されてしまった。

今年の上越は、その百年目に当たるイベントが目白押しである。

今から百年前の明治四十三年（一九一〇）、高田に師団長官舎が建築され、高田の朝市「二・七の市」と「四・九市」が高田の陸軍十三師団の兵隊に新鮮な野菜を食べさせたいと言う要望で開催された。翌年の一九一一年には金谷山でレルヒ少佐によるスキー指導が行われ、日本最古と言われ

る映画館の高田世界館が開業し、高田が市政を施行した。上越市では、今年から来年にかけて、百年記念イベントが多数企画されている。

百年前の新潟県の人口は約百三十万人で東京、大阪、兵庫、愛知について全国で五番目であった。新潟は明治三十一年に東京に抜かれるまでは、日本が一番人口が多く、非常に元気があった。

東京新潟県人会は明治四十三年に発足したもので、今年で丁度百年になる。これを機会に新潟を元気にしようと言うことで、新潟県と東京新潟県人会が協賛で、今年の九月二十五日（土）、二十六日（日）に新潟市の朱鷺メッセに於いて「大新潟県人祭」を開催する。「にいがた大物産展」「新潟県人会と県民の大交流会」「芸能大会」「特別公演・オペラ夕鶴」「米村でんじろうサイエンス教室」「朗読コンサート」「講演会」など多彩な催しが行われる。入場は無料だが、イベントには事前に往

復葉書で申し込む必要がある。また、トヨタのリウスが当たる大抽選会もある。

先日、「天恵楽」と言う美味しいお酒に出合った。製造元は「憐よしかわ杜氏の郷」とある。春の交流会で立ち寄った道の駅にあった酒蔵だ。上越市の資本が入っていて確か副市長が社長をやっている筈だ。この前行った時の話では、上越地域では新参なので中々営業がやりにくいらしい。そりゃそうだ。税金が入っているのだから民業圧迫と言われかねない。このようなお酒は東京で販売するに限る。Jネットの監査役の安島さんに酒販のノウハウを聞いて、是非、上越のお酒を世の中に広めたいと考えている。



平成二十二年 度 総 会 報 告

五月二十九日（土）、アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段）で八十名を超える参加を得て平成二十二年 度「ふるさと上越ネットワーク」総会が開催されました。

小坂恵美さん司会のもと、和久井会長の挨拶に続き、村山秀幸市長から市政報告を頂きました。規定により会長が議長を務め、平成二十一年度の事業報告と決算報告、規約の一部改正、平成

二十二年 度の事業計画と予算、役員の改正の六議案が審議され、いずれも承認されました。

Jネット運営が二十一年度より全て市より運営委員会に移管されたことにもない、事業報告は運営委員の岡村普さんが担当しました。

新たな組織では上越市役所の、自治・市民環境部共生まちづくり課が担当することになり、布施課長にも参加いただきました。

平成22年度 ふるさと上越ネ



和久井会長の挨拶



小坂恵美さんの司会



岡村普さんの事業報告



村山秀幸市長の市政報告

議事と事業内容

◇議事（六議案承認されました）

- 第一号議案 平成二十一年度事業報告
- 第二号議案 平成二十一年度決算報告
- 第三号議案 規約の一部改正
- 第四号議案 平成二十一年度事業計画
- 第五号議案 平成二十一年度予算
- 第六号議案 役員の変更

理事 内山勇人・山岸匡之

（上越青年会議所理事長）

◇平成二十一年度事業計画内容

一 会員募集事業 目標会員数七〇〇人

- (一) 新規会員の募集
- ・各区郷人会等への働きかけ（Jネット開催事業への参加案内）
- ・役員、運営委員などによる定期的な

二 広報事業（上越市の紹介）

- (一) ふるさとの便りを会員宛に毎月一回送付
- ・「広報しようえつ」一日号、十五日号（広報の送付を希望しない会員には送付しない。）

- ・上越市やJネットの情報を提供する「たより」の発行
- ・会員の近況を紹介する
- ・「お元気ですか」の発行
- ・イベント情報チラシ、特別賛助会員からのお知らせなど送付

・「Jネット会報」の発行：年二回

発行（七月、十二月）

(三) 「ふるさとカレンダー（二〇一一年版）」の発行：十一月

(四) ホームページの再開

・ホームページに総会やふるさと市場などの情報を掲載。随時更新。

・HPの管理は運営委員会が担当

三 交流事業を実施

(一) ふるさと交流会の開催

・春の交流会

平成二十二年四月十一日（日）

・高田公園近くの「なかしま食堂」で

観桜会、米と酒の謎蔵、

水科・宮口古墳群、岩の原葡萄園、

上越火力発電所、

よしかわ杜氏の郷、等の見学

・秋の交流会

平成二十二年十一月上旬

・上越市内で交流会を開催予定

(二) Jネットサロンの開催

・名古屋サロン（十月予定）

参加者一人あたり千円をJネットが助成。お土産の検討。

・近畿地区大阪サロン（十二月予定）

参加者一人あたり千円をJネットが助成。お土産の検討。

・東京地区サロン

毎月開催（第二水曜日午後五時三十分～七時）東京の運営委員会事務局で開催

(三) 勉強会の開催

・年二回程度、主として上越市にゆかりのある施設等を見学、但し、会員の交流の為、見学施設を限定しない。

四 総会等開催事業

(一) 総会

① 開催日

平成二十二年五月二十九日（土）

② 会場

アルカディア市ヶ谷

③ 内容

平成二十一年度事業・決算報告、

平成二十一年度事業計画・予算等の協議、懇親会

(二) 理事会の開催

① 第一回

平成二十二年五月二十九日

会場

アルカディア市ヶ谷

平成二十一年度総会議案審議ほか

② 第二回

平成二十三年一月二十三日

平成二十一年度事業中間報告、

平成二十三年度事業計画（案）ほか

(三) 運営委員会の開催

- ① 開催日 毎月第二水曜日(原則)
- ② 会場 運営委員会事務局(社会システム(附分室))
- ③ 内容 個別事業計画の内容検討や事業執行への協力ほか

五 ふるさとのまちづくり支援

- (一) ふるさと市場事業の実施
 - ・米を中心とした通信販売
 - ・新規商品の採用
 - ・直産商品の推薦
 - ・毎月カラーカタログ(チラシ)の発行
- (二) 上越市への協力
 - ・Jネットのオリジナル商品の開発
 - ・推進員や各種委員会の委員として協力
- (三) 「ふるさと納税」支援

(二) 文化講演会の開催

- ・第二回理事会開催時
- (四) ふるさと越後大使事業
 - ・ふるさとPR用の名刺作成と配付
 - ・下段に名刺の新図案

(五) その他

○各郷人会との連携

- ・現在、郷人会の事務局会議室使用は無料
- ・会費との関連で準会員等の検討

(運営委員会)

・郷人会の催しには積極参加

- 東京新潟県人会との連携
- ・県人会施設の有効利用
- ・会報への投稿

○在京企業等の紹介

- ・上越市の企業等と在京の企業を結ぶ交流(商工会議所等を経由)
- 会員への定期的アンケートの実施
- ・上越市に何を望むか

上越市には、海、山、里、川と豊かな自然の恵み、心も体も健康があります。そのことを全国の皆様にお届けしたく「ふるさと越後大使」をJネット会員の皆さんにお薦めしました。上越市ならではの魅力を皆様へお伝えし、愛をこめてお届けいたします。ふるさと上越大使の募集は、毎月1度おこなっています。ぜひ、夏越し、秋越し、冬越しの3回、心より応募してください。

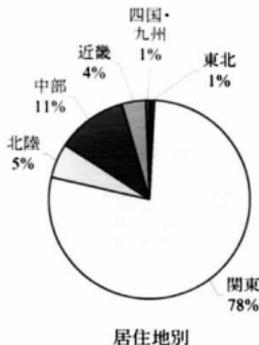
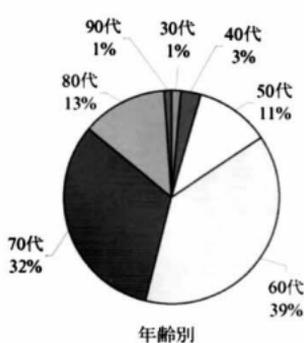
上越市 村山 勇希

上越市観光協会 事務局 電話 025-228-5111 FAX 025-228-6111
 上越市観光協会 事務局 電話 025-228-5111 FAX 025-228-6111
<http://www.city.utsunomiya.jp>

Design : 株式会社アド・クリーク

年度	会員数	年度	会員数
平成 14 年度	860 人・7 団体	平成 18 年度	699 人・6 団体
平成 15 年度	828 人・6 団体	平成 19 年度	664 人・6 団体
平成 16 年度	775 人・6 団体	平成 20 年度	649 人・7 団体
平成 17 年度	738 人・5 団体	平成 21 年度	605 人・8 団体

会員数の推移と二十一年度末の年齢別・居住地別分布



平成22年度 ふるさと上越ネットワーク予算

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

■収入

(単位:円)

科目	平成22年度 予算額	平成21年度 決算額	差引増減	予算額内訳
会費	2,215,500	2,162,000	53,500	・個人会員(3,000円) 1,539,000 ・個人会員(2,900円ほか) 276,500 ・賛助会員 400,000
負担金	2,070,000	1,676,000	394,000	・総会参加者 300,000 ・文化講演会参加者 300,000 ・春のふるさと交流会参加者 450,000 ・秋のふるさと交流会参加者 400,000 ・名古屋・近畿・東京サロン 590,000 ・ふるさと越後大使 30,000
交付金	5,000,000	5,000,000	0	・市交付金
通信販売割引金	204,000	96,416	107,584	
繰越金	1,272,728	1,757,287	△484,559	
雑入	171,000	106,215	64,785	・預金利子 1,000 ・ふるさとカレンダー 170,000
合計	10,933,228	10,797,918	135,310	

■支出

(単位:円)

科目	平成22年度 予算額	平成21年度 決算額	差引増減	予算額内訳
広報事業	2,957,000	2,644,891	312,109	
会員募集事業	289,000	147,278	141,722	・広告、会員募集チラシ 225,000 ・通信運搬費 8,000 ・会員証印刷代 56,000
広報事業	2,668,000	2,497,613	170,387	・市広報購入費 276,000 ・会報(年2回)、カタログ作成 718,000 ・ふるさとカレンダー印刷 495,000 ・定期郵便物配送料 819,000 ・封筒他印刷 150,000 ・消耗品・通信運搬費ほか 210,000
交流事業	2,431,503	1,597,883	833,620	・春のふるさと交流会 695,003 ・秋のふるさと交流会 799,500 ・名古屋・近畿・東京サロン 887,000 ・勉強会 50,000
ふるさと支援事業	1,236,000	968,894	267,106	・講演会事業 774,000 ・ふるさと大使事業 63,000 ・ふるさと納税事業 100,000 ・通信販売 290,000 ・消耗品・通信運搬費ほか 9,000
総会開催事業	904,000	877,482	26,518	・理事会 40,000 ・総会 370,000 ・懇親会 494,000
事務費	3,404,725	3,436,040	△31,315	・人件費、交通費 2,000,000 ・運営委員会事務局費 960,000 ・運営委員交通費助成 260,000 ・会費手数料、郷人会、通信他 184,725
次期繰越金	0	1,272,728	△1,272,728	
合計	10,933,228	10,797,918	135,310	

特別講演

東京女子医大名誉教授 小柳 仁 先生

総会后、上越市出身で東京女子医大名誉教授で現在聖路加国際病院ハートセンター顧問をされている小柳仁先生による「心臓にいい話・医療崩壊の時代に生きる知恵」と題して特別講演を頂きました。

「人は血管と共に老いる」
「この神秘の臓器」
「心臓の病気」
「心臓を調べよう」
「心臓病を治す」
「健康な心臓を作る、守る」
「もしも心臓病になったなら」
などについて、分かりやすくスライドを利用して説明下さいました。
また八十人を超える参加の皆さんに、著書「心臓にいい話」を提供して頂きました。

この後、引き続き場所を変えて懇親会が開催されました。



小柳 仁先生の講演



講演会の様子



共生まちづくり課長布施良之さんの挨拶（懇親会）



松川太賀雄副会長の挨拶



梅原政信相談役の挨拶



佐久間相談役の乾杯



高杉晃司さんの乾杯



懇親会スナップ



小柳先生を囲んで



春日山音頭斉唱



田端さんの勝どき「エイ・エイ・オー」



Jネット勉強会(第十一回) 鉄道博物館見学会

大森台町 藤沢勝一郎(東本町四丁目出身)

今回の勉強会は、首都圏に住んでいるながらなかなか行く機会のない鉄道博物館です。

ふるさと上越で過ごした時の通学や修学旅行、上京時に乗車した汽車や座席の懐かしさ、そして雪に苦勞して乗車した時のことを思いだしながら……。

場所は、JR大宮駅からニューシヤトルに乗り換えて一つ目の「鉄道博物館」駅から一分のところ。

駅から博物館までの歩道は、大きな時刻表タイルが敷き詰められています。

三月十五日(月)十三時に、博物館玄関に集合したのは、本日の見学者Jネット会員十四名。

玄関ロビーに入ったとたん、ビックリするほどの広さと展示車両の多さに驚きました。

再集合時間を決め、各自思い思いに

見学することになりました。

一階はヒストリーゾーン。

昔懐かしい機関車がたくさんありました。ND51。まず、これをバックに記念写真。



昭和三十三年に、東京・大阪間を六時間五十分の日帰り圏にした初の特急型電車がありました。この電車は冷暖房完備、電話やビュッフェなどが設備され、以後の国鉄特急型電車の標準タイプとなり、新幹線電車の誕生に繋がったとのこと。

ポラリティア説明員が、適宜説明してくれました。このほか、空気バネ台車による快適な乗り心地で「走るホテル」と言われ、後に「フルートレイン」と呼ばれた客車。大正八年に国産初となったC51型高速型蒸気機関車など、鉄道マニアでなくても必見の歴史的車両が数多く展示されています。

オオー。駅名表示も右から左へ読むようになっていて、古い書き方で「うやきょう」と。

自分が小学生だった頃、上越市の現「なおえつ」駅が「なほえつ」と書かれていたことを思い出しました。

列車の座席、肘掛が木製の展示物がありました。小学生だった頃の列車の椅子の背は、布張りだったと思いますが、肘掛は木製でした。これも懐かしい。

二階には、模型鉄道ジオラマ。横幅約二五m、奥行約八mの中に駅舎、発電所、橋梁、トンネルなど様々な鉄道施設とループ線、スイッチバックなど現在も存在する施設のある風景の中を1/80の

多くの子供達が、食い入るように見ているのが印象的でした。

ジオラマの次に、鉄道歴史年表を見ました。ここには、鉄道の歴史と社会的な歴史が年代ごとにとまとめられています。見応えがあります。ただ今回は、時間的に厳しかったことからじっくりと見られなかったことが残念です。

この階には、今回の企画展「雪にいだむ」がありました。

北海道、東北、上信越地方を中心に多くの路線が雪により、大小の被害を受けてきました。

雪害対策のための防雪林・防雪柵な



藤沢さん

どはパネルで、ラッセル車・ロータリー車などの除雪車両は写真と1/8、1/15サイズの巨大模型で展示されています。このミニシアターでは、運行を守る人々、雪と闘う鉄道員などを紹介した映像を上映していました。

雪害発生の条件下でも、列車の定時運転と安全運行のため、昔から国鉄、JRでは大きな努力をしてきたことが理解できました。

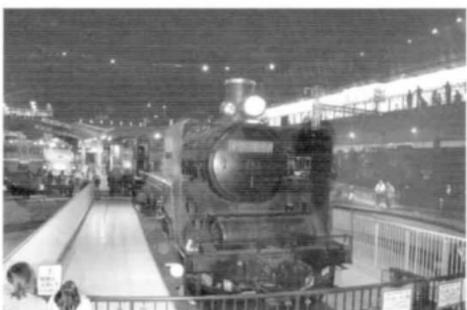
この階には、もう一つ人気のコーナーがありました。運転シミュレーターを使った運転士体験教室です。高崎線の運転席から撮った実写映像が映し出され、走行音も流れます。揺れはありませんが運転席は、実車そっくり。体験順待ちの女性もかなりいました。

再集合時間に間に合うよう戻ってみると、近くのミュージアムショップは土産を買う人がいっぱい。

家族づれで来た方の中には、小さな子供は疲れて眠ってしまい、お父さんがだっこしたり、お父さん自身も疲れて、壁に寄りかかるようにして座り込んでいる風景も見受けられました。皆さん、今日は本当にお疲れ様でした。



積雪量 新井駅 650 cmとありました



春の交流会（初日）

中野区 小田切松枝（北城町出身）

春になると、物の芽が膨らみ、子供達もひと回り身体が大きく元気になる感じがします。桜前線日本列島北上の中、ふるさとの桜の下、Jネット春の交流会が、四月十一日（日）から十三日（火）まで、地元会員と合せ三十九名の参加をいたたきお互いの交流を深めました。

初日の十一日は、あいにくの雨模様の中、本城町の「なかしま食堂」に二時集合、会には村山秀幸市長も出席され、「ふるさと上越へお帰りなさい」とあたたかな挨拶をいただき大変感激いたしました。マジックショウを見ながらふるさとの味を食し交流を深めました。が、あまりの寒さにびびりました。

ふるさとの桜の下に酒酌まを
越後路の花のはるかに妙高山



四時にバス出発

「米と酒の謎蔵」を見学、「清酒の表示」「日本酒度」「吟醸・大吟醸」「日本酒のカクテル」「酒作りの道具」「純米酒」「生酒」「生（き）醗（もと）山（やま）麴（はい）速（そく）醸（じょう）」「本醸・普通酒」といろいろ説明書きありましたが、一番気に入った説明は、「日本酒と肴」日本酒は基本的には大体の食材と反発しません。醤油、味噌などの調味料と日

本酒は特に合うようです。

次に素敵と思ったのが、「折紙カレンダー」折紙で表現した一年の田仕事カレンダーです。

「酒のみカレンダー」

美しい日本語に「ころが和らぎ暖かな気分」にさせられました。

一月から十二月まで、屠蘇、雪見酒、白酒、花見酒、菖蒲酒、夏越の酒、七夕酒、涼み酒、月見酒、紅葉酒、祝酒、冬至酒、まさに、私達は今年花見酒が少し残っているようですね。

酒蔵をあとに、今晚の宿、米本陣へと車を走らせました。

川底の石を晒して雪解水



四月十二日（月）雨

花冷えの頰城平の朝茶かな

八時三十分米本陣出発

牧歴史資料館

宮口古墳出土品や、牧区に残る貴重な民族資料を後世に伝えるために一九八三年に開館しました。宮口古墳群も近くにありますが、雨のため見学は中止です。ここを整備するにあたり、土地所有者の農民の方々の心の動きがあり、解決するまでには紆余曲折があったと説明されました。今は市内の小学生の格好な遠足の



場所であるとのこと。特に新緑の頃、一面に緑の絨毯となり、古墳の上から滑り下るのが、子供達は大好きなのだそう。子供達が、嬉々として古墳と戯れる声と姿が目につかぶようです。

ここには仏像が安置されており、幾度の戦禍を逃れ、村人達に守られここに在す仏像に掌を合わせました。さぞかし安堵され在すことと思います。

ガイドは久米満さん、中学のクラスメイトで五年ぶりの再会です。

里人の秘中の秘仏花の寺

花は葉に包まれば遠くをなるとばかり



清里歴史民族資料館

六千年前、この台地に人々が住み、石で道具を作り、土器を焼き、魚や動物、野山の草木の実をとって生活していた先人達の残してくれた文化を大切に、後世に伝えたいと考えています。と館内を案内して下さった方のメッセージです。

燃える水・石油

明治時代、清里を中心とした地域では、頸城油田で最多の石油を産出し、日本で最初のパイプラインにより送油されました。

檜池の隕石

大正九年九月十六日、晴れた日、夕刻六時頃、南方より北方に「ゴオン」という音に村人達はおどろき戸外に出、空を見上げたが何も見えず、ただ一條の光だけでした。小学校の先生が隕石で星の落下したものと断定されました。落下地点、清里区上中條五八四、全重量四・四二kg「宇宙からのメッセージ」として大切に保管されております。

隕石とお別れして、次の見学は岩の原葡萄園です。

とぎれては狭く集落本の芽雨



岩の原葡萄園・貯蔵庫の中へ

ワインは樽に入れ、熟成することにより、渋みが弱まり、ぶどう本来の持つアラマ（果実香）とブーケ（熟成香）が加わりすばらしい芳醇さと、まろやかさが発揮します。

「どの位の場所に寝かせておくか？」
「この樽で、ビン詰にするとどの位の数か？」

「樽は国産か輸入品か？」等々の質問に社員の方が一つ一つ丁寧に答え下さいました。雪室も見学させていただきました。オー寒い寒いと、全員ブル、ブル、ほんのわずかな時間で退散です。古くて新しい雪の利用です。入口近くに応用微生物学者・坂口謹一郎氏の歌碑があります。頸城区に坂口記念館があり、博士の遺品や業績の紹介、酒造道具の展示のほか藏人の話を聞きながら試飲もできるそうです。

私は川上善兵衛が全財産を投げうってぶどう産業を興した位の知識しかありませんでした。展示室の見学は確り時間をかけてと思ったのですが、限られた時間内での私のレポートです。大地主の子として育ちながら小作人との生活の差に気づき、小作人をうるおそうと思ったのが切っ掛けでした。親戚にあたる人の塾に入門します。そこは春日村にあり全寮制です。いっしょに暮らす同級生はほとんど小作人の子供でした。この時に自分の生活は小作人の犠牲によってなりたっている実感するので。昔から越後には「三年一作」という言葉が伝えられてきました。そして折角とれた米も味が非常に悪く「鳥またぎ米」などといわれまし

た。善兵衛はこうした須城平野の地主の家に生まれました。しかし善兵衛は普通の地主とは違っていました。彼は小作人に同情し、なんとかして小作人の暮らしをよくする方向はないものかと考え、そしてこれまで米より外のものを作られることもなかった土地の一角にぶどう園を開きぶどう酒の産業を興しました。この産業の計画は、不幸なことに、結果的には失敗に終わり、先祖代々受けつがれて来た川上家の莫大な財産は失われてしまいました。しかし善兵衛の行った、ぶどうに関する数々の研究は、専門の学者達をびつくりさせ、彼の生み出した多くの新品種は、ぶどうの本場である山梨県をはじめ各地に広まり、その後の日本ぶどう栽培を大きく発達させたのでした。越後の米ですが、稲作は不安定で味も悪かった米を、農事試験場で善兵衛がぶどうについて行ったと同じようにメンデルの法則をつかって品種改良をはかったのです。とうとう越後平野によく育つ、しかもおいしい稲を生み出すことができました。そして越後は一躍にして、名実ともに「日本の米どころ」といわれるようになりまし。善兵衛は事業家としては失敗しましたが、科学者としてはみごとに成功したのでした。



岩の原葡萄園資料館にて

善兵衛さんの苦勞が凝縮されているワインを試飲し昼食会場へ、途中に川上善兵衛住居跡の碑が春雨の中、ひっそりとありました。昨今のワインブーム、特に女性に人気がありますが泉下の善兵衛さん、どんな顔してどんな思いで現世をみていらつしやるのでしょうか？

本日の昼食はバイキングです。雨模様の中、少々寒いという感じはしたのですが、おなががいっぱいになると、身体が暖かくなるようですね。地元産の春野菜美味でした。

十二時三十分岩の原葡萄園出発

里訛やさしくつむ花の跡
一粒のチヨコのうまさや花産れ

一時 直江津駅着 解散

自然を肌で感じ、土地の人の温もりに触れ、歴史と文化を知る。その土地の懐に深く分け入れれば、ふるさととはこんなに面白い、そして楽しく暖かい。

さよならは次への一步の花吹雪く
ふるさとや花また花ののす



マジックショー



交流会参加者全員で



「なかしま食堂」での交流会

春の交流会（二日目）

三重委員会

岡田昌孝（妙高市出身）

私は上越ネットには昨年入会させて頂きました。催し物には名古屋と大阪のサロンに参加したばかりで、交流会へは今回初めて後泊コース（十三日泊）に参加しました。

信越線の黒姫駅を過ぎた頃から残雪が多くなり、県境を流れる関川が見える妙高では、今年の豪雪を思わせるように、田んぼの中まで雪が残っておりました。それでも線路わきの日当たりの良い土手には、蒔の暮がみられ雪国の春を感じる事ができました。

上越火力発電所

この発電所は、太田前会長のご尽力で東北電力（株）と中部電力（株）が共同で開発に着手しました。現在では中部電力（株）が一ノ号系列（二一九万kw×2）の建設を進めているところでし

た。（三号系列は将来東北電力（株）が建設する予定）

今回の見学は和久井会長が前会長に話を出され実現したと伺いました。

建設事務所で上越火力建設所の伴所長さんから、スライドを見ながら発電所設備の概要を説明して頂き、その後建設現場をバスで一巡しながら（要所ではバスを降りて）説明して頂きました。

この発電所の燃料は、天然ガスをマインナス（一六二℃で液化したLNG（液化天然ガス））です。液化により体積が1/600となり、輸送と貯蔵が容易となり、また、液化時に不純物が取り除かれるので、燃焼時には硫黄酸化物やばい煙が出ないうえ、二酸化炭素の排出量も石油・石炭より少なくなるとのことでした。また、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた「コンバインド発電方式」を

採用することにより発電効率が良くなり、燃料の節約（ひいてはCO2の削減）に寄与することでした。

建設現場では、平成二十四年七月運転開始を目指し、現在一日一、二〇〇名程の作業員が工事に従事し最盛期を迎えておりました。外槽工事中のLNGタンクの中に入りましたが、中は直径八〇mと広々としており、めつたに見られない場所を見せて頂きました。また、LNG積槽は三〇〇mのLNG船が係留できるもので、将来はサハリンからの船の着桟も想定されるとのことでした。積槽では全員がライフジャケットを着用しましたが、ヘルメットと併せて、見学者一同慣れない保護具の着用に戸惑いながらも、安全に配慮して施工されていることを強く感じました。さらに、ガスタービンが設置されているところや、人が悠々立つことができる寸法のキャタピラを有する七五〇トンの巨大なクレーンなど、珍しいものも見せて頂き見学を終了しました。



よしかわ杜氏の郷

「酒米五百万石の特産地」、「杜氏の酒づくり技術」、「全国唯一の高校醸造科を有する町」を三本柱に設立されたことなどの説明を受けた後に、酒造りの設備を見学しました。通路に展示された法被から、私の住んでいる東海地区にも、大勢の杜氏さんが来られていることを知りました。売店には大吟醸から精米歩合九〇%まで多くの酒があり、色々と試飲させて頂きました。



試飲コーナー

宿舎 マリンホテルハマナス

柿崎上下浜温泉のマリンホテルハマナスは、第二セクター経営で、日本海に沈む夕日を楽しむことが出来るホテルですが、生憎と夕日は雲の中でした。

四階の展望風呂で日本海を眺めながら汗を流し、さっぱりしたところで宴会です。越後料理とお酒、カラオケで楽しく過ごしました。私が妙高高原の杉野沢出身と話したら、女学校時代同級だった杉野沢出身の生徒の名を知っているかと問われました。それが父の妹の長女だったことや、杉野沢出身の山川先生のことを聞かれたりなど、人の繋がりが本当に身近にあることにびっくりしました。



楽しい宴会スナップ

前島記念館

翌日は晴れて暖かくなり、ホテルから南に真白な妙高・火打ちの山々が、東には霊峰米山がくつきりと見え、絶好の行楽日和となりました。

「前島記念館」を訪ねました。

案内は、文化講演会で、前島密の業績についてお話下さった元館長の樋口嘉和さんでした。この講演が縁で会員になって頂きました。懐かしい再会でした。館内には郵便関係を始めとする、種々の資料や記念品、写真等が展示されています。前島密は郵便の父というイメージでしたが、その業績は、海運、新聞、電信、電話、鉄道等々多岐に渡っており、改めて先人の偉業に感服させられました。



樋口さんの説明

高田城址の桜

岩間さんのお店の前を通り、お堀端の満開の桜を楽しみました。

私の住んでいる桑名市は上越地区と何かと繋がりがありません。伊勢桑名藩の三代藩主松平定重が、越後高田藩主に移封されており、ここに赴任した渡辺藩の飛び地があり、ここに赴任した渡辺藩の助が書き残した「柏崎日記」が有名になりました。戊辰戦争の鳥羽・伏見の戦いで敗れた京都所司代の桑名藩主松平定敬は、百人ほどの藩士と柏崎に来て願勝寺にて謹慎していましたが、ここに宇都宮などで官軍と戦った桑名藩士が合流し、鯨波・長岡における北越戦争へと転進しております。



やっと花見ができました

「朝市・駅前ホテルハイマート」

直江津の「三・八市」では、コゴミ、蕨の羹、板取りなど、懐かしい早春の山菜が多く見られました。雪解け水で茶色に濁った関川河口の「安寿と厨子王の供養塔」を回り、昼食に向かいました。駅前のホテルハイマートにて、駅弁甲子園（新宿京王百貨店の「元祖有名駅弁と全国うまいもの大会」の通称）で優勝した弁当「鱈めし」と、おつまみのスルメの天ぷら「する天」を美味しく頂いて、今回の交流会はお開きとなりました。



安寿と厨子王の供養塔

交流会に初めて参加するに当たり、知己がいらないことから若干の遠慮がありました。参加の皆様が温かく迎えてくれたうえ、何かにつけて親切にして頂いたことで、楽しく過ごすことが出来ました。また、思わぬ地縁の繋がりがなども教えて頂き、お陰様で実りの多い旅となりましたことを、参加の皆様には厚くお礼申し上げます。



タンク全容



追憶 軍都高田

さいたま市 安藤三郎（東本町三丁目出身）

はじめに

警沢はどのような話になった時「戦時中統後では」というと「ジューゴとは何ですか」と質問されました。広辞苑では「戦場の後方、直接戦闘に加わらない一般国民」と示されている。そこで何人かにこの言葉を探ねてみたら五十歳以下の人は殆ど知らず時代の変遷を痛感した。

高田商業高校のある一帯はかつて五十ha（一五万坪）の農地だったが、明治末期第十三師団高田移駐時に練兵場となった。練兵場の東南の地藏宮（軍隊では勇みが丘といった）には杉の大木が繁り、その北方に連隊名からの「五八の森」と名付けられた木立があった。演習のない時は一面が子供の遊び場となった。戦後は食糧増産の為農地転換への再開拓が行われ入植者が鋤を振ったが、企業の

進出、学校の移設更に宅地化へと変わっていった。

統後という言葉の認識変化と同じように高田にかつて軍隊があり其処で鍛えられた越後健児の懸命な努力も、やがては地元の人達にも忘れられてしまうのではないかと思ひ、文献と見比べながら記憶を呼び戻す事にした。

高田にあった軍隊とその略史

幼い頃から高田の軍隊といえは先ず歩兵三十連隊と現在の自衛隊駐屯地にあった独立山砲兵第一連隊（通称山砲隊）であった。

山砲隊では祝日になると外堀の所の道路に砲列を敷き西方に向けて祝砲を射っていた。

三十連隊については軍旗祭の賑わいや小学生の頃、統後国民の感謝を込めての合唱を連隊本部前で行った事を想い出す。

南本町三丁目通りから南新町に通ずる道路の程東側に石碑がひっそり佇み、それには三十連隊、五八連隊それに一三〇連隊名が刻まれている。南新町が兵舎であった頃、そこから越後健児が厳しい訓練の後果立ったと碑である。以下その三個歩兵連隊略史を記する。



安藤三郎さん

歩兵第三十連隊について

明治二十九年新発田歩兵第十六連隊内で編成、第二師団隷下となり明治三十年村松へ移駐、明治三十一年軍旗拝受。日露開戦により三十七年二月村松出発。第一軍隷下に入り（軍司令官黒木大将）、鴨緑江渡河、緒戦の九連城、遼陽、沙河、黒溝台、奉天と連戦する。明治三十八年二月凱旋村松へ帰還。この間弓張嶺の夜襲を始め各戦闘の偉勳に対して軍司令官より二回感状を授与された。

明治四十一年第二師団から第十三師団の隷下に入り、大正二年四月満州へ大正四年六月村松帰還、大正十四年五月第二次軍縮による第十三師団廃止に伴い第二師団隷下になり、高田へ移駐した。昭和六年四月満州派遣同年九月満州事変勃発旅順出發各地の戦闘に参加、昭和八年一月高田へ帰還。昭和十二年四月満州派遣となり新潟港から出港警備任務につく。同年七月支那事変始まり北支



五八の森



独立山砲兵第一連隊

に出動鉄角嶺(軍司令官より感状授与)、原平鎮、大原等の戦闘に参加十二月駐屯地五常とハルビン帰還、昭和十四年七月緊急派兵によりノモンハンに出動し十月駐屯地に帰還した。

昭和十五年八月第二師団から新設の第二八師団に編入されハルビンに移駐したが、昭和十九年七月釜山經由で宮古島に上陸、米軍上陸に備えていたが敵上陸なく、昭和二十年八月十五日を迎えた。



歩兵第三十連隊

歩兵第五八連隊について

明治三十八年七月東京に於て編成八月軍旗拝受同日宇品出港第二軍戦開序列に入る(軍司令官奥大将)。同年十月第二軍を離れ韓国守備の為平壤に駐屯、明治四十一年第十三師団高田移駐と共に高田に入る。大正二年渡満同四年高田帰還。同九年シベリア出兵同十年帰還。

大正十四年五月第一次軍縮により第

十三師団と共に廃止となり軍旗奉還した。

昭和十二年日支事変の為、師団と共に再編成軍旗再拝受し上海に上陸、上海、徐州、武漢、宜昌などの戦闘に参加した。

昭和十八年一月南方派遣の為呉淞(ウースン)出港シンガポールに上陸、マレー半島イポー付近の警備に当る。昭和十八年三月第三十一師団に編入、ビルマ方面作戦に参加する。インパール作戦では要衝コヒマを作戦開始後バトカイ山系二七〇kmを踏破し僅か二十日で占領した。インパール占領は不成功ではあったが撤退に当り一兵も残さず退いた。その後各作戦に参加し、苦しい体験を重ねたが八月十五日を迎えた。

歩兵第一三〇連隊について

この連隊の存在は前述『高田にあった軍隊とその略史』での石碑を見て初めて知った。第四十二師団の編成は昭和十八年六月とあるがその基幹の独立歩兵団は昭和十六年七月に既に設置され、軍旗も下賜されたとある。其幹歩兵団は二二九連隊(若松)、一三〇連隊(仙台)、一五八連隊(山形)とあり、昭和十九年

三月中千島派遣について北部北海道警備とある。当初留守三十連隊で編成の為慣例になり一〇〇を加えた一三〇を連隊名とし業務処理を行う予定が、その後仙台へ

移管とあるのは情況変化に対応する為だったのではないかと私は推察する。留守三十連隊長は山崎保代大佐であった。

山崎大佐はその後仙台に赴任され、昭和十八年五月アツツ島で残兵二、〇〇〇の先頭に立つて最後の突撃を行い玉砕された。大本営発表で玉砕という言葉は此の時初めてである。戦死後二階級特進で中将になられた。

両連隊の高田駐屯期と評価

連隊の創設は三十連隊が早いが高田駐屯は五八連隊が先で、明治四十一年から大正十四年の間、三十連隊は十三師団廃止に伴い二師団に移り村松から高田に移駐した。その後昭和十五年八月第二十八師団に移ったので、郷土連隊としては約十五年間となる。第二十八師団に移った事を知らなかったため終戦まで連隊といえは三十連隊と想っている人が殆どであろうと思う。

両連隊の評価は『兵隊たちの陸軍史』(伊藤桂一、新潮文庫)によると、精強部隊隊激戦を重ね悲惨な損害を受けるのが常であるが、その故に三十連隊は激戦を予想される宮古島配備となったが、米軍の直接沖繩へ上陸によりそれを免れた稀な例としてある。ちなみに精強なるゆえ悲惨な損害を受けた例は新発田十六連隊である。ジャワ作戦で偉功をたて慰勞

の為内地帰還の予定がガダルカナル戦況不利の為、急遽救援に投入され広安連隊長以下二二〇名もの戦死者を出した。

五八連隊については、十三師団からの越後健児集うも「如何に五八の兵とても山砲一門・彈薬三発では如何せん」とコヒマの決戦での苦闘を述べ、その栄光は世界戦史に不滅と記してある。名将伝に名を連ねる宮崎繁三郎少将(後中将)は五八連隊を手兵として撤退指揮をとられたという事を読んだ事がある。状況不利な場合の退却は困難を極めると聞いているが我が越後兵に全幅の信頼を掛けられていたのである。

第十三師団高田移駐時の各隊の位置

斎藤真一画伯の越後警女日記の大正二年頃の高田市図によると、十三師団司令部は本丸に、その南側の現在図書館のある一帯に騎兵第十七連隊、自衛隊駐屯地には野砲兵十九連隊、高田高校の西側に師団長官舎がある。南新町には歩兵五八連隊があり、そこに何故か歩兵第二六旅団も記入されている。五八連隊の南側の練兵場通りを東に進み青田川を渡ると輻重第十三大隊があった。師団廃止後歩兵第十五旅団司令部(所屬第十六、三十連隊)は高田にあり、本丸に入つたものと思われるが私にはその記憶はなく、徴兵業務等を扱う連隊区司令部

があった事は知っている。

なお師団在任中の著名軍人には師団長では第三代目の長岡外史中将、在任明治四十三年から大正二年（この時オーストリアのレルヒ少佐金谷山で日本にサッカー騎兵と、寡兵ながら従来にとらわれない柔軟戦術によって対等以上に戦われた秋山好古中将（後大将）、在任大正二年から大正四年がある。又野砲兵第十九連隊には明治四十三年から一年余り、若き日の蒋介石が留学していた。

故・野口春雄大先輩について

Jネット会員であった大先輩は昭和十三年一月十日三十連隊に入営現役満期後二度召集を受けられ、幾多の苦闘の体験を重ねられ終戦後南支広東から帰還され昭和二十一年五月十七日浦賀に上陸軍籍を離れられた。大先輩は軍隊手帳（写し）と遺稿ともいえる『残り桜』を私に手渡し下さった。精強な郷土連隊員は多くの苦闘を乗り越えられたがそれ等の方々の代表として大先輩の軍隊手帳と遺稿から軍歴、ノモンハン事変、終戦後の苦闘を偲ぶ。



故・野口春雄さん

軍歴

昭和十三年一月十日歩兵第三十連隊入営渡満。九月一日仙台予備士官学校入校。

昭和十四年三月十五日卒業、同日見習士官、四月一日新潟港から渡満、三十連隊に転属、牡丹江付近警備、八月ノモンハン事変に出動十一月十五日現役満期、即日召集、陸軍少尉。

昭和十五年八月三十日連隊は第二師団から新編成の第二八師団隷下となりハルビンに移駐、師団長副官、初年兵教育。

昭和十六年二月五日東部第二部隊に転属二月二十四日召集解除。

昭和十九年一月二十一日東部第二十三部隊（新発田）に召集、二月二十二日新発田出發釜山、山海関、上海、高雄（台湾）を経て三月二十一日広東省黃埔上陸、九月十五日陸軍中尉。

昭和二十年八月十五日終戦。八月二十日陸軍大尉。

昭和二十一年三月二十九日内地帰還の

為黄埔出港五月十七日浦賀上陸、召集解除。

ノモンハン事変での苦闘

昭和十四年五月滿蒙国境でソ連軍との間に衝突発生、六月上旬までソ満国境東部に於てソ連牽制の大演習に参加、八月二十六日ノモンハン出動、列車を降りてからは昼夜を分たぬ三日二夜の行軍、炎熱、重装備の為落伍者続出、脂汗を流

は支那大陸縦断陸路輸送によらざるを得なかつた。台湾経由で行先不明のまま一月半後の広東黄埔に上陸し付近警備や中支方面への北上作戦に中隊長として三回出動したが、無線機も故障がちで信じられぬ事だが、八月十五日の終戦も敵方から知らされる始末だった。

八月二十一日中国軍から通訳を通じて武装解除の連絡があった。無線機の故障で司令部からの連絡もない。大決心をして上部からの命令がないから解除には応じられない。やりたければ武力で解除せよと回答したが内心はビクビクだったという。二日後敵軍使から「会いたい」と連絡があったので死を覚悟の上それを承知した。ただその地点は我が迫撃砲の射程内地点で八月二十四日午前十時と指定した。万一話し合いが不利の場合は拳銃発射と軍刀抜刀を合図に大先輩諸共敵軍使一行を砲撃せよ、後の指揮は小隊長一任として、曹長と当番兵の三名で着弾地点に赴き敵軍使一行を待った。十時と指定したのは太陽を背にし照準しやすかつたからであった。

五十名以上の武装兵を率いる軍使は当然ながら解除を迫ったが、先に通告した内容と変らぬ回答を行った。更にどう

大戦終戦後の苦闘

昭和十九年一月の召集後南支広東黄埔上陸とあるが、此の頃制空権を失っていたので、南方戦線確保の為の要員補充

りこの警備地を死守すると回答した。軍使は日本の陸士に在籍した事のある中佐で日本軍が指揮命令を重んじる事を知っていたからか、一応時機を待つ事を約束してくれた。軍使は部下に鍋やチャンチュウ等の用意をさせ、会食を共にしてくれと云うのでそれには応じたが、敵に囲まれての会食は余り気分のよいものではなかった。十二月に入り中国軍に従えとの命令が来た。

撤退に当り中隊の終結地点迄の武器携行は中国側も認めたが、残余の武器、被服の受渡しは難行した。早く部隊主力と合流しなければ支障が出る事、部隊全員の軍隊手帳、各中隊の功績名簿、その他人事関係重要書類を全部持ってこれら各隊に返さねば帰国業務に大支障をきたすので、あせるばかりだった。

何日も交渉進まず当方通訳に相談したら二割程減じた員数表を提示してみたらといった。二割は中国軍幹部への賄賂であった、我が軍では思いもよらぬ事だったが早く主力部隊と合流せねばならぬので、その通りの表を提示したら直ちに諒解となった。翌日6km程行軍し広東への中間駅に到着し軍人の隊長に広東行きの貨車四両準備を交渉した。この時は将校行李約三十個があったのでそれから軍服一着と細かい私物を残し、隊長にやり交渉に当った。それでそこで一日の

夜営で翌日列車が到着約二時間半の後広東に到着出来た。直ちに参謀部に連絡少佐参謀の出迎え受け「よく広東に來られたなあ」と感心され喜んで貰ったが、私としては必死だった。少数人員が他部隊の指揮下に入ったらどうなっていたかは判らない。重要書類の受渡や病兵についても同様でいろいろな思いで独断専行でこの道を開いて来た。

軍参謀の案内で五ヶ月振りに部隊復帰単任務から解放されたが、十二月初めから翌年三月下旬まで一日粥二食の俘虏生活が続く事になった。

大先輩の苦闘を偲び

私(安藤)は昭和十九年十月二十日新発田歩兵第十六連隊に現役兵として入隊した。それまで兵役義務は二十歳からであったがこの時から十九歳となった。入隊の為高田駅に集まったのは十余名であった。同時入隊者は五〇〇余名であったと思う。私を含むごく少数の教育要員を残し十九年十二月五日深夜新しい夏服を着て転属して行き二十年一月三日福建沖で輸送船が爆撃を受け全員海没した。それからの教育は連日の猛吹雪の中で外套手袋なしで行われたが終戦後もまなく復員となった。大先輩は私より早く昭和十九年一月同じ新発田に応召され大陸縦断敵の制空権下上海、台湾高雄經由で南

支広東付近におられ生死をかけて任務に励んでおられたのである。猛吹雪中の訓練は辛かったが生死をかけての任務とは比較にならない。改めてその労苦とそれを貰かれた野口先輩の意志に深い敬意を表す。

さまざまない出

練兵場は子供の遊び場所でもあったが農家の人達が長い柄の鎌で円を画くようにして草刈をしていた。堆肥にするのであろう。国民の献金による飛行機の献納に対する感謝の意を表す飛行機が三機程着陸した事があった。布貼り単葉機で愛国何号という番号がついていた。昭和十六年九月上越の中等学校連合演習が岡山演習場であり終ると岡山から夜行軍で高田へ、学校でゴロ寝し、翌日練兵場で闘兵が行われた。

昭和十二年の五八連隊再編成の時であつたと思う。兵舎が満杯の為か市内各戸に何名宛かの応召兵宿泊が行われた。我が家では二名だった。日露戦争に従軍した父は氏神でもある直江八幡様の氏子の家から一人の戦死者もなかった。無事に帰れますとって大切にしていた凶囊を磨き贈り励ましていた。二年程してその二人の方は無事に帰りましたと挨拶に見えた。東京在住の方だった。小学生の時三十連隊本部前に整列感

謝の合唱を行った。賑やかな軍旗祭の時直立不動で軍旗奉持の連隊旗手に感動した事もあった。

山砲隊については昭和十七年十月二泊三日の営内宿泊を行い見習士官、上等兵二名が指導に当られ食事準備、寝具整理等を教わり不寝番勤務もやった。酒保にも行き饅頭(十銭三個)を食べた。兄は山砲隊に入営し間もなく中支に向った。山砲隊には馬が沢山居てその馬糞を使ってマッシュルームの栽培をする農家が連隊の東側にあつて、見学に行った事がある。

戦争拡大と共に遺骨の帰還が多くなった。早朝帰還の時は市内居住の生徒は服装を整え遺骨の出迎えをした。その場所は旧高田市役所前の君の井酒店の付近であつた。駅から連隊まで白布に包まれた遺骨は肅々と進んだ。慰霊祭で追悼喇叭の『吹きなす笛』は心に深くしみ入る悲しい曲であつた。

参考文献

- 『軍隊たちの陸軍史』伊藤桂一 新潮文庫
- 『日本陸軍がよくわかる事典』P.H.P文庫
- 『わが軍隊』ノール書房
- 『せめぎあう地域と軍隊(高田)』河西英通
- 『坂の上の雲』文春文庫
- 『越後賢女日記』斎藤貞一

作曲の呼びかけ

「謙信公賛歌」と「乾杯！上越」

「上越には多くの民謡や雪の歌がありますが、お隣の武田節のようなごぶしの効いた歌が欲しい」と前の会報に玉井輝さんから寄稿が載せられておりました。運営委員会では、毎月「お元氣ですか」に「徒然道草」をお書きになっている杉臣武さんに作詞をお願いしたところ以下の素晴らしい歌詞二点ができあがりました。読みと重みのある「謙信公賛歌」と簡単に口ずさめる「乾杯！上越」です。

ただ残念ながら、作曲を何人かの人にお願ひしたのですが、うまく話が進んでおりません。皆様の中に、あるいはお知り合いの中に、作曲に興味があつて引き受けて下さるお人を「存じないでしよ

うか。上越の醸造元さんの観光用・進物用のお酒や杯とセットで提供するなど、多くの利用が期待されると思います。また

完成の暁にはJネットから市長に献呈し、上越の合唱団で披露したいとも考えております。作詞の杉臣さんの言葉です。皆さんのご協力をせつにお願ひいたします。

謙信公賛歌

杉臣 武

一 群雄きそう日の本に
その名とどろく越の虎
命をかけた義の一字
毘沙門天に誓うかな

二 情け無用の戦国に

刃まじえる敵なれど
民の嘆きを如何にせん
情けの塩に敵も泣く

三 川中島の霧晴れて

車がかりの陣太鼓
強者どもよ奮い立て
雌雄決する時は来ぬ

(詩吟)

鞭声肅々夜河を渡る

暁に見る千兵の大牙を擁するを
遺恨十年一剣を磨く
流星光底長蛇を逸す

四 風さえ光る城跡に

おもかけ映す馬上杯
民を愛して義に生きた
謙信しのび酒を酌む

乾杯！上越

杉臣 武

一 春の上越 お堀のさくら
日本一のお堀のさくら
円く輪になれ 乾杯しよう
乾杯！ 乾杯！ もう一回！
それ もう一回！
妙高山も 笑つてる

二 夏の上越 花火があがる

祭り太鼓に 花火があがる
ビール冷えたか 乾杯しよう
乾杯！ 乾杯！ もう一回！
それ もう一回！
三日月さんも 笑つてる

三 秋の上越 稲穂が揺れる

山の棚田の 稲穂が揺れる
豊作祝え 乾杯しよう
乾杯！ 乾杯！ もう一回！
それ もう一回！
流れる雲も 笑つてる

四 冬の上越 雪降りつもる

いで湯の郷も 雪降りつもる
熱燗頼むよ 乾杯しよう
乾杯！ 乾杯！ もう一回！
それ もう一回！
窓で雪ん子 笑つてる



『くびき野文化事典』の紹介

NPO法人頸城野郷土資料室

理事長の石塚正英（東京電機大学教授）は、本法人設立に先立ち、平成初年頃から新潟県中頸城郡妙高村（現妙高市）関山、東頸城郡蒲川原村（現蒲川原区）など頸城野全域において、仏教美術史の泰斗平野団三翁（一九〇五～二〇〇〇）の導きにより民俗学フィールド調査を開始しました。

その成果を『高志路』（新潟県民俗学会）、『石仏ふおらむ』（新潟県石仏の会）、『頸城文化』（上越郷土研究会）などに発表しつつ、同時に、地域の生活にふかく根差した石造物を上越市指定文化財に推挙してきました。その過程で、市民の市民による市民のための郷土文化を調査研究し、その成果を地域社会発展に役立てる方途を模索しました。

こうしてNPO法人頸城野郷土資料

室が構想され、平成二十年二月に新潟県知事の認証をうけ、同年四月一日に創立されたのです。

上越地方の郷土文化を保存・研究し、それに付随する資料の収集と整理、そして郷土文化教育を目的とします。法人を構成する主な事業部は以下のとおりです。

- ① 野外調査部（蒲川原区石造物悉皆調査、頸城野木彫狗犬調査、くびき野ストーン調査ほか）
- ② 学術研究部（協同研究「裏日本」文化ルネッサンス、ワークショップ「暮らしのインタビュー」、個人研究「川上善兵衛研究」ほか）
- ③ 教育事業部（NPO学園くびき野カレッジ天地びと運営）
- ④ 出版事業部（機関誌『くびきのアーカイブ』『くびき野文化事典』編集発行）

⑤ 町家文化部（「あわゆき組」「町家三昧」「NPO法人街並フォーカス」ほか市民団体と連携）

⑥ 地域創生部（くびき野水車発電プロジェクトによる中山間部でのエネルギー自立支援）

⑦ 広報事業部（新潟日報、上越タイムス、エフエム上越などメディア各社と連携）

今回、④の一つとして、頸城野郷土資料室編『くびき野文化事典』を編集・刊行致しました。

監修者：村山和夫、編集委員長：植木宏、発行所：社会評論社。

この事典は頸城野近隣の地元民はむしろのこと、頸城野を愛する全国のみなさんに読んで戴けるような編集方針を立てております。それから、この事典を編集するに当たって、第一に地域住民の視線からみた郷土遺産・文化財に意味を持たせました。

頸城文化とりわけその生活文化に関する情報を簡潔にまとめることは、NPOの崇高な使命であると自覚しております。本事典でくびき野文化の基本を学び知る人は、郷土における就労や生活において明日からの目的意識が明確になる、そのような郷土人の育成、これが今回の編集目的です。

その方針のもと、本年九月にNPO

学園「くびき野カレッジ天地びと」
(<http://space.geocities.jp/masuyakubikono/index.html>) を開講します。

なお、本事典は、今秋から始まりますNPO学園「くびき野カレッジ天地びと」講義の参考図書となります。



米山の北山麓の大平

横根市 小川弘（本町三丁目出身）

昨年十月十五日に高田高校十回生の古希の会が上越市の料亭宇喜世で行われた。私も出席したが、八十人程集まって盛会であった。この文章はそれを書くためではない。高田へ行った事を枕にしたかっただけだ。

古希の会でも相当酩酊したが、終わった後で親しい友人O氏とY氏と三人で二次会を「終」と言う小料理屋で行った。飲むために「終」に行ったのだから、こゝでも相当楽しく飲んでしまった。高田駅前のターミナルホテルに入ったのは翌日になっていた。

七時半にホテルで起床して、腹筋二十五回と背筋五十回をしてから朝食を食べに行った。昨日は飲むには飲んだが、形あるものは刺し身くらいしか食べていないので、朝食のご飯をお代わりしてしまつた。減多にないことだ。

古希の会に出席した人達は、今日はゴルフをしたり、市内を散策したり、母校を見学したりするらしいが、私は上越に来たらやりたい事が前からあった。今日は単独行動でそれを実行しようと思つた。

私は昭和十九年の四月から昭和二十二年の三月まで、家族と一緒に米山の北側の山麓に位置する部落に住んでいた。部落の名前は大平（おおひら）と言う。父親が教師で、転任先が鉢崎小学校大平分校だったので、敗戦濃厚になった時期も重なって、疎開を兼ねて家族全員が大平に移った。この大平に六十二年振りに行ってみたかったのだ。

高田駅前のホテルだから駅まで歩いて一分もかからない。八時四十四分発の長岡行きに乗って直江津に着くと古希会で会つたK氏が夫人と乗りこんできた。

何かの展示会があり、これから宇都宮へ行くそうだ。米山駅でK夫妻と別れて降りた。九時四十分。米山駅の昔の名前は鉢崎だった。駅名を何故変えたのか知らないが、乗降客はほとんどいない。降りたのは私一人だった。改札には駅員がいなかった。無人駅だ。駅前には商店もななく人影もない。何とも寂しい所に降りてしまつた感じがした。それでも駅前には幼稚園と郵便局があった。郵便局の名前は昔のまま鉢崎郵便局と看板があり、漢字の下にHISAKI POST OFFICEとあった。昔通りにハツサキと読むのだ。駅前を五十メートル歩くと国道八号線に出る。大型貨物車が轟音を出して途切れなく走っていた。何かとんでもない違つた場所に来てしまつた感じがした。

駅前から米山の頂上が見えた。山頂の薬師堂も小さいがはっきりと見えた。大平部落に向かって歩き始めた。大平部落までは約五キロ、標高差は一五〇メートル。六十三年前の四月の始めにこの道を一家で歩いたことを思いながら歩いた。今は立派な舗装道路だが、昭和十九年には雪解けのぬかるんだ道で、道の両脇に雪が残っていた。五歳になろうとしていた私には、地獄のような道だった。登り勾配の道を歩き始めると、日が射して気温も高くなり、汗をかき始め

た。上着を脱ぎ、手に持って歩いたのだが、道は意外ときつい。一時間十分かかって大平部落の入り口に着いた。部落の入り口までは広い舗装路が整備されていたが、部落に入ると、舗装はされておらず、昔通りの狭い道路だった。歩いている内に家も道路の曲がり具合も何となく記憶が甦つてきた。勿論、幼かった私の視線は低く、部落の道路も家も大きく見えた。今見る部落の家々は何故かみすばらしく小さく見えて、人影もなかった。

敗戦前後はこの部落出身で都会に住んでいたが、空襲で焼け出され、戻ってきた人達もおり、何処の家にも子供は三、四人はいいたので部落は何処に行つても人影があった。今は、大平もその例外でなく、日本全国の農村で見られる過疎の老人所帯の部落になってしまつたらしい。子供の頃一家でお風呂を使わせてもつた家の前を通り過ぎた。見覚えがあつた。その隣の家も見覚えがあつた。



私と同級生の男の子がいた家も昔の通りにあった。

分校は部落の西のはずれの小高い所に嘗てはあった。訪れて見たが、校舎も校庭も消え失せ、細かく仕切られた畑になつていた。幼い目には広く見えた校庭は今見ると本当に狭い。こんな狭い所で運動をしたり遊んだりしたことが異次元の世界のように思われ、暫し佇んでいた。

学校跡地から部落へ戻ってくる途中で、先ほど通り過ぎた、風呂を使わせてもらった家の門前に立った。Mさんの家だ。表札を確かめた。当時は部落の人達は屋号で呼び合っていたが、その家は「x x x」と言う屋号だった。

「御免下さい」と大きな声で開いている戸口から声をかけたらお婆さんが出てきて、怪訝な顔をしながら、「何でしようか」と声をかけてきた。

「お宅は昔x x xと言う家ではありませんか」と言うと、そっだと応えが帰ってきた。終戦の前後にこの部落に住んでいたことのある者で、当時の事が懐かしくて寄つたのだと話したら、私は嫁に来たので当時の事は知らないが、もうじきお爺さんが田圃から帰ってくるからお爺さんと話をしたらよい。ここで立っているのも何だから家に入ってください、と言うので上がしてもらふことにした。

十一時半近くになつて来た。お婆さ

んが昼になるがどうすると言うので、昼食は持っていると言つたら、味噌汁を作ってくれた。お婆さんは胡桃パンを食べ始めたので、私も持参のサンドイッチとおにぎりを食べ始めた。

お婆さんは、鯨波（近くの漁村）から嫁に来て子供を三人育てたこと、孫達が時々遊びに来ること、娘が横浜で所帯を持っていること、等を話してくれているうちにMさんが帰ってきた。勿論、お互いに顔を覚えてはいるはずがない。私が当時の話をしたらMさんははつきりと思いついてくれた。終戦当時、彼は小学校の六年生で、私の父から授業を受けたことも思い出してくれた。

Mさんは、私より七歳上のこの家の長男だが、昼飯を食べながら色々と話してくれた。大平部落には昔二十四軒の農家があつたが今は僅かに八軒しか残っていない。それも老人所帯ばかりだ。おれたちが居なくなつたら、この部落もお終になるだろう。最近放棄された家や田畑が増え、昔は姿を見たこともなかった猪がこの数年出てきて田畑の被害が大きくなって来た。今年も収穫直前の稲が猪に食われてしまい、収穫は半分以下になった。県や市の援助で田畑の周りを高圧電線で囲む事になった。若い人がいないので、農家も少なくなる一方だ。俺

たちは死ぬまではこの家で住む積りだ、

等々と話してくれた。

一時半になり、Mさんはこれから田圃の土起しに行くのだ、と言うので、私も辞去することにした。二時間もお邪魔してしまつた。

数年前に米山に友人たちと登つたことがあつた。但し、登山口は柿崎地区からだったので、気にかかつていた大平に足を踏み入れることはなかった。頸城平野からの端正な米山を見ながら、一度行つてみたいと思ひながら、何故か機会がなかったのだ。車で少し走れば何時でも行けたのに。

大平から米山駅までの帰りの道は日本海を見ながらの下り道だ。晴れ渡つた日本海の霧の中に佐渡ヶ島がぼんやりと見えた。長い間、一度は訪ねて見たいと思つていた所を訪れ、宿題をやり終えたような気分になりながら、駅までの道を歩いた。

佐渡ヶ島雲にかすめる暮れの秋



対米館よりの眺望 米山さん

「四季を彩る金谷山の里山

づくり」を直指して

金谷山さくら千本の会 会長 相澤 紀(樹木医)

還暦を機に

昭和三十五年三月大きな夢を背負って高田高校の校門をあとにした青年達は、夫々色んな人生路を歩み、平成十四年に還暦を迎えました。この年、仲間達と毎年登っていた登山を還暦記念として浅草岳に挑み、その折に皆が辿った道を振り返りながら若き日の情熱を呼び戻し、お世話になった故郷に何か小さな恩返しが出来ないかと相談しました。

仲間達の共通の話題は、スキー授業で冬になると毎週一回、午後の半日が体育の時間が組まれ、学校を出ての授業は楽しみの時間でありました。その舞台、日本スキー発祥の地「金谷山」は冬になると子供から大人まで多くの市民がスキーを楽しみ、大変な賑わいでした。

はないかということで衆議一決となりました。

金谷山の里山は

今、各地で里山が荒廃していると言われていきます。上越地域においても昭和三十年から四十年代にかけて里山の雑木林は薪炭林として利用されることで森の健全性が保たれて来しました。

しかし、その後は利用が途絶えてしまい、人と森との係わりが無くなり放置されるがままの状態になりました。金谷山の里山も放置されてすでに四十年近くが経過し、雑木林は過密の状態になってしまい、子供達が栗拾いで森を駆け巡る元気な声が聞こえなくなってしまうました。そして老齢過熟の森は松食い虫やカシノガキクイムシのダメージを受け続け、今こそ人と里山が色々な係わりの中

で健全性を保って行くことが、再び強く求められる時代になっていると感じております。

また、森林の伐採が自然破壊だと言われる社会にあつて、里山林は人との係わりの中で維持されてきたものであり、これもからも人による管理、適度な伐採と植樹が里山林の再生に欠くことの出来ないことだと思っています。

健全な里山林を造りあげていくには、その里山の環境により色々な手法が考えられますが、私達は、藪状態になった金谷山の里山で、歩道を切り拓き、藪を刈り払い、雑木を伐採して桜を植え、育てることで蘇らそうと考えました。

汗することに喜びを感じて

活動の場所は、白旗山ゲレンデから向山ゲレンデに囲まれた二・五ヘクタールの雑木林で、中心部には昭和三十年頃まで使われていたジャンプ台があり、今でも鉄骨の審判台が残っています。

平成十四年十月に地主さんや行政の御理解を頂いて活動をスタートさせ、第一回植樹祭を行い、翌年からは毎年四月から十一月までの毎月の第二日曜日を定例活動日として活動を続けています。

その活動も当初は藪ごぎの連続とランディングパーンの急斜面への植樹で足を取られながら三メートルの若木を植えることは還暦過ぎの肉体には応える作業でしたが、それでも残っていた若いエネルギーで「口を出さずに汗を出す」をモットウに参加者全員は、黙々とこなして来しました。

これまでに三八四本の桜を植樹してきましたが、この他にも水辺を整備してミズバショウを植えたり、藪を刈り払った跡に雪割草を植えたり、伐採した雑木を利用してベンチや小上がりを作ってきました。どの作業も悪戦苦闘の連続でした。それでも植えた桜が花を咲かせ、蘇ったカタクリや植えた雪割草が春の山を染めてくれると作業に汗したこと喜びを



第8回 さくら植樹祭

感じ、楽しみにも変わり今では仲間達の生活のリズムになってきています。

これまでの主な活動実績

- ・ヤマザクラ、オオヤマザクラ、エヒガシ等十八品種三八四本植樹
- ・遊歩道八〇〇メートルの開設と修復
- ・癒しの広場、憩いの広場整備（丸太ベンチや小上がりの設置）
- ・水辺、湿地の整備（一三〇株のミズバショウの植え付け、メダカの放流）
- ・雪割草五四五株、葛蒲七二株の植え付け、伐採木を使ったナメコ造り
- ・上越市環境フェアーに参加して活動状況をパネルで紹介

これからの夢は

活動を始めて九年目、今年は四年振りの豪雪に見舞われ桜樹は大きな痛手を受けましたが、春にはこれまで以上の花を咲かせてくれましたし、ミズバショウも雪割草も山に彩りを添えてくれました。

これからは毎年、桜花爛漫と咲き誇り山を美しく彩ることでしようし、その桜花の下で仲間達とこれまでの汗と笑いを語らいながら大観桜会で一層絆を深め、平成の花咲か爺さん、婆さんの気分になつてみたいものです。

そして多くの市民にも桜を愛でていた

だけるように、桜樹を育てることに汗して行きたいと思っています。

これまでに上越市、新潟県から私達の活動を評価して頂き表彰を受けましたが、今年になって日本さくら会（会長横路衆議院議長）から「さくら功労者」として、又小沢環境大臣から「地域環境美化功績者」として表彰され、会員一同大感激、これを糧に体の衰えを感じながらも地主さんや行政の御理解と御協力の下に活動を継続して「四季を彩る金谷山の里山づくり」に取り組んでいくことにしています。

会員の声

雪が消え、春の訪れとともに我々の活動が始まる。六十八、九歳の方がほとんど。長靴を履き、腰には作業用に鋏、鉋などを付け、スコップ、唐鍬やカケヤを肩に現場へ向かう。格好だけは一人前。先ずは雪で傷んだ遊歩道や添木の修復など。辺りを見渡せば、密集、藪山だったところが相当すっきりし桜の幹が整然と並んで見える。カタクリの花は山の手入れをすればするほど一面に咲き誇り見事である。

夏の下草刈り、秋の植樹祭と作業は続く。

一年一年、年をとるが皆、精神年齢は若い。個性があり、口は達者。それでいて纏まりがある。

こういう人達と、緑の中でおいしい空気を吸いながら、程ほどの汗をかき、心身の健康保持に本当に役立っている。これからもずっと参加させて頂きたいと思っている。
(保坂勘作)



春に浮かれて大観桜会



4年振りの豪雪で倒伏した桜樹の復旧



豪雪にめげず、今年は咲いてくれました

綺麗になった青田川

上越タイムスによると青田川沿道の桜が終わっても、土手を散歩する人が増えたとあります。行き違う人に「こんにちは」の声が飛び交っているといいます。小学生らしき子供達が草の上に腰を下ろし先生から何やら説明を受けているのが見られます。青田川は昔のように憩いの場に成りつつあります。「青田川を愛する会」をはじめ多くの人に支えられて川は変身しております。

「青田川を愛する会」の二十周年記念式典が金谷山麓のヨードル金谷で開催されました。此処まで来るのに二十年かかったのです。汚れて虫もいなかった青田川にホテルが飛び、サケが登るようになりました。

ギンヤンマが飛び羽黒トンボがたむろするようになるともっと良いですね。

何時でも楽しめる綺麗な青田川を後世に残して欲しいものです。

「青田川のうたーあそびにおいで」が披露されました。皆さんも一緒に歌いませんか。（編集部）



青田川を愛する会 20周年記念式



クリーン作戦



かつての青田川



パノラマ全景（上越タイムス紙より）

上越市の現状と 今後の施策

上越市長 村山秀幸

上越市長村山秀幸さんによる講演が、一月二十四日アルカディア市ヶ谷で開催されました。

昨年の市長選挙時に各地を遊説された折りの、苦労話や上越市の高齢化した村里の現状と今後の課題を中心に講演は進められました。終了後、市政に対する質疑応答があり、充実した意見交換の場となりました。

講演会後の懇親会では、多くの会員と和やかな懇談の中で会員との写真のモデルをとめて頂きました。



村山市長さんの施策発表



講演会全景



活発な質疑





懇親会風景



利き酒コンテストの風景



当たりましたよ！！



近畿地区サロン（大阪）

平成二十一年十二月十二日（土）
十二時から、例年の開催場所大阪駅近くの「大阪弥生会館」で第八回「ふるさと上越ネットワーク」近畿地区サロンを開催しました。今回の参加者は十七名。

八回目にもなると、ほとんどの皆さんは顔見知りで、開宴時間前は、あちこちで和気藹々のしゃべくりの輪ができています。

地元の尾崎副会長、東京からの和久井会長、名古屋からの太田相談役の挨拶のあと、参加者動員のためあちこち電話してくれた地元の佐藤恵美子さんの音頭で乾杯、開宴となりました。

食事をしながらの懇談はいつもどおりで、その間に参加者から自己紹介や近況報告があり、参加者の一人柿村榮一さんからは昭和十三年発行の少女倶楽部誌、少年倶楽部誌、幼年倶楽部誌の表

紙に描かれた多田北鴉（タダ ホクウ）、村上松次郎の表紙絵のカラーコピー配布やていねいな説明もあつて、時間がやや不足気味。

お酒は越の三梅の一つ、上越市の「雪中梅」もあり、皆さん味わっておられました。

皆さんお楽しみのカラオケでは、ほとんどの方が得意歌のご披露でなかなかの賑わい。

サロンの最後は、来年も元気でおいしましようという事で、恒例のとおり全員で「高田の四季」を合唱。

散会后、有志が、乾杯の音頭をとってくれた佐藤恵美子さん（大島区出身）のお店、心斎橋にあるキッチンズナック「のんでこくってこ」で、二次会をしました。



名古屋サロン

毎年秋に開催され、ふる里を共有する人達が越後弁を片手にやってきました。今年の予定日など詳細は未定ですが、近々ご案内いたします。

ちなみに昨年は十月初めの土曜日でした。写真は昨年のお誘いの上ご参加下さ

い。



東京サロン

ご存知、第二水曜十七時三十分からの渋谷でのサロンです。社会システム側の会議室をお借りして開催しています。

いつも二十名ほどで九十分ほどの時間を楽しく過ごしております。千円会費でビール・ふるさとの美酒・おつまみを用意しております。このところ、参加者が固定化しつつあり、寂しい感も無きにしても非ずです。まだ、いらっしゃったことのない方、是非「サロンデビュー」しませんか。お一人でも何の気兼ねもありません。「上越」繋がりで、すぐに仲間入りできること間違いなしです。事前予約は特段必要ございませんが、初めての方は名札を作りますので連絡頂けると助かります。



ふるさと便り

―「上越タイムス」の記事より―

高田城百万人観桜会（四月）

第八十五回高田公園の百万人観桜会は、一週間遅れの十八日最高の盛り上がりを見せた。夕刻には「万燈御輿」が登場、極楽橋を渡って公園内を渡り観桜会はクライマックスを迎えた。



会津墓地に慰霊の訪問（四月）

金谷山の「会津墓地」には、戊辰戦争で敗れ高田藩にお預けの身となり命を落とした会津藩氏ら、白虎隊を含む六十八人が眠っている。会津若松市長を含む訪問団の一行百五人が墓地を訪れた。



レルヒ少佐の親族が上越訪問（四月）

日本に初めてスキーを紹介したレルヒ少佐の親族が上越市を訪問、金谷山やスキー発祥記念館を見学し資料の保存と行き届いた施設に感動していた。



大和、三十四年の歴史に幕（四月）

昭和五十年七月のオープン以来、市民に親しまれていた本町四丁目の上越店が惜しまれながら二十五日閉店した。午後六時の閉店時には全従業員が正面入り口に整列。店長の感謝と閉店の言葉、陸上自衛隊・音楽隊と城西中吹奏楽部による「蛍の光」演奏の中、シャッターがゆっくり降ろされた。



芸妓の舞とお花見会席を楽しむ会（四月）

仲町二丁目の「やすね」で、新潟市の古町芸妓が、日本髪に振り袖、留め袖姿で三味線に合わせて、あでやかな踊りを披露した。



タンチョウ二羽飛来（四月）

二十六年ぶりに、二羽のタンチョウ鶴が大潟区浜江と関川左岸の田んぼに現れた。中国北部や朝鮮半島から舞い込む例はあるようだが、北海道から南下した可能性が高い。



アカマンボウを発見（四月）

日本海側ではあまり見られない、鮮やかな朱色のアカマンボウが、糸魚川沖で捕獲された。アカマンボウは別名マンダイ。マンボウに似た体型だが異種である。



川釣りの季節到来 ニジマス釣り大会（五月）

妙高市関川町の関川橋上流で、春の「ニジマス放流釣り大会」が開催された。好天に恵まれ、妙高山を眺めながらの大会であった。



上越にスミレ咲く（五月）

昔、田んぼのあぜ道や川岸に沢山咲いていたスミレはめっきり少なくなりました。三和区の丘の道に五十メートルも続く花の行列を見付けました。

一茶の句に「葦咲く川を飛び越す美人哉」



「上越野菜」認証マーク（五月）

「上越野菜」をPRしようと、上杉謙信をモチーフにした認証マークが誕生した。「高田シロウリ」を謙信のずきん、「とうな」「オータムポエム」を軍配、曲がりネギを刀に見立て、背景に「なす」や「みょうが」もある。



「霜風」が幕内六年ぶりの二けた白星（五月）

郷土の力士「霜風」が、五月場所で十勝五敗の好成績。千秋楽「隠岐の海」との一戦、最初の一番は胴体で取り直しの、取り直しの一番は右四つとなり、右からのすくい投げで豪快に決めた。



経営哲学を講演（五月）

Jネット初代会長であり、WOWOW相談役の佐久間昇二さんによる講演が、上越青年会議所のオリエンテーション委員会であった。講演では「ふるさと」上越にも言及、次代の上越を担うメンバーに「若い人に元気がない」と発破。産品や観光資源のブラッシング（磨き上げ）と情報発信の強化をアドバイス。さらに北陸新幹線開業を契機に企業誘致と人的交流を積極的に進めるように説いた。



G A C K T 謙信登場予定 (五月)

八月の謙信公祭にG A C K T 謙信が予定された。大河ドラマ「風林火山」で人氣を博したG A C K T さんの謙信公祭への出陣は二年ぶり三回目となる。



榊原文書を解説養成講座 (六月)

高田図書館は所蔵する旧高田藩榊原家の藩政日記を解説するボランティア養成講座を開講した。榊原文書藩政日記は約千百冊。平成十二年から修復が行われ、昨年度まで約百二十五冊が完了した。講座はくずし字解説の基礎を学ぶ初級四年と中級三年コース。



二頭のイルカ到着 (六月)

水族博物館でイルカショーにデビューするメス二頭が、沼津市三津から元氣な姿でやってきた。イルカショーは七月十七日から八月二十二日まで開かれる。



つちのこ探検隊に百人参加 (六月)

「伝説の生きものを捕まえて一億円をゲットしよう」を合い言葉に、全国から集まった探検隊は糸魚川市のシャルマン火打スキー場西側一帯で行われた。残念ながら今年も発見できなかった。参加者には心づくしの山菜料理が振る舞われた。

ホタルのお宿 (六月)

上越ホタルの会は金谷山にホタルを呼び戻そうと、金谷山公園をホタルの里として整備しています。ホタルの自然繁殖を目指して、水路の整備や棚田の復元、水芭蕉の移植など金谷山を本来の姿に戻すことよって、徐々にホタルの数が増えました。また「学習施設ほたるの宿」を設置して、地域の子供学習にも力を入れております。夜間特別公開は金谷山公園ポブスレー乗り場横で開催された。



眠る資源メタンハイドレート (六月)

上越沖の日本海に眠る資源「メタンハイドレート」は二〇〇三年に発見され、東京大学のグループを中心に研究が進んでおります。直江津沖と北海道奥尻沖を調査するためフランス籍の「マリオン・ドフレイヌ号」が直江津港に入港した。メタンハイドレートは、海底の表面や地中に存在する水状ガスで、気化することで天然ガス同様の利用が可能な資源。村山市長等が出迎え歓迎した。



お諏訪さんの大ケヤキを守ろう

(六月)

稲田の諏訪神社に聳える樹齢八百年の大ケヤキを保存手入れする活動が、隣接する稲田小学校の生徒と保存会が、樹木の指導で地中に棒状固形肥料を埋め込んだ。幹の太さも約十メートルと測定。



豪農の館・林富水邸の屋根のふき替え

(六月)

三和区神田にある上越市指定文化財「豪農の館・林富水邸のかやぶき屋根のふき替え」が十年ぶりに行われた。今年は大雪や天候不順のためかやの手に苦勞、地元を始め中ノ保、桑取地区からも集めた。



「上越弁」のCD完成

(六月)

おじちゃんおばあちゃんが喋っていた昔懐かしい「上越弁」のCDが完成した。消えつつある高田の方言を音にまとめた一枚である。タイトルは「おまんたえますぐ使える えつちよまえの上越弁」。朝の食卓や酒場での会話、正月、運動会、朝市での会話などが録音されており、むかしの情景や記憶がよみがえってくる。二枚組で二千円、八月からの販売である。



お引き上げにきわう 柿崎区 (六月)

柿崎区の浄善寺、浄福寺の報恩講お引き上げが開かれ、昔と変わらぬ賑わいと風情を見せていた。



加藤福子さんがコンサートを企画

「ネット会員の加藤福子さんが浄興寺での秋のコンサート「PASSION」を企画しました。

永井由里さんのヴァイオリン、水月恵美子さんのピアノ演奏です。

日時 平成二十二年十月三日十四時
場所 本山浄興寺本堂(上越市寺町)
料金 一般・三千円(前売り)
お問合せ 〇四・七二八八・七七五二

TEL: 025-222-1111 FAX: 025-222-1112

〒950-0001 新潟県上越市上越1-1-1

TEL: 025-222-1111 FAX: 025-222-1112

〒950-0001 新潟県上越市上越1-1-1

PASSION

ヴァイオリン 永井由里
ピアノ 水月恵美子

2010年10月3日
新潟県上越市浄興寺本堂

上越のグッズ販売

Jネットでは今、上越市で話題になって
いるグッズの販売をします。ご注文はF
AXまたは電話でJネット事務局まで。

ふるさとの懐かしい情景が、季
節の風が、そしてそこに住む人
たちの声やところが伝わってくる。
そんな品々をご紹介します。

①おまんた えますぐ使える
えつちよまえの上越弁

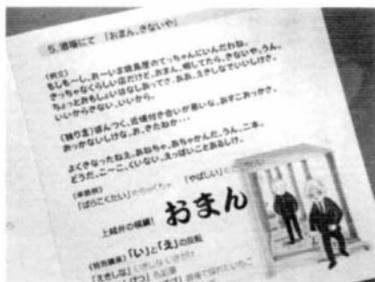
おまんた！上越弁きいてく
ない。

あのころの思い出や情景が、
懐かしい言葉の響きにつけてよ
みがえります！

見ているだけでも楽しい解説
書付き！



CD二枚組(約80分) 二千円(税込み)
〔高田言葉 その老 やわやわ生活篇〕
〔高田言葉 その忒 高田の四季篇〕
20ページオールカラー&ひぐちキミヨ
イラスト入り解説書付き！



②ひぐちキミヨ ふるさと
絵はがき

いま上越で最も人気のあるイ
ラストレーターひぐちキミヨが
描く優しくたおやかなふるさと
の情景。

額に入れて飾っておきたいい
くらい素敵な絵はがきです。

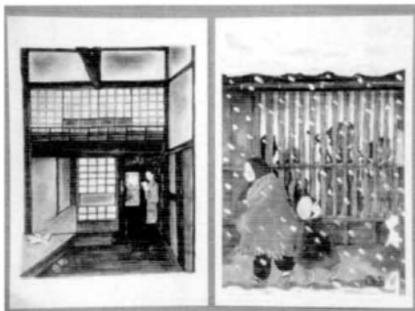
高田篇と直江津篇をご用意し
ました。

高田篇 十枚組 千五百円(税込み)
〔雁木を行く警女・角巻き親子・高田
三重櫓・はす祭り他〕





直江津篇 十枚組 千五百円 (税込み)
 (祇園祭・五智国分寺・いかや旅館・
 ニューハルビン他)



※ひぐちキミヨ 東京生まれ／一九七八年武蔵野美術短期大学卒／上越市在住イラストレーター (主な作品：FM横浜開局ポスター／上越市自治基本条例解説冊子イラスト／朝日小学生新聞連載)



③ふるさとタオル

本町四丁目老舗呉服店、美しいもののくろかわのオリジナル。贈答品のまとめ買いにピッタリです。

日本スキー発祥百年記念

新潟県公認ゆるキャラ レルヒさん

ハンドタオル二枚組 (ブラック・ブルー)

千円 (税込み)

綿100% 35cm×35cm

日本スキー発祥百年記念

レルヒ スポーツタオル 一枚

千円 (税込み)

綿100% 35cm×120cm



栗原クリニク 東京・日本橋

院長 栗原 毅 (大手町出身)

ごあいさつ

上越を故郷にお持ちの皆さま、お元氣ですか。

日頃より当クリニックをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

お蔭さまで、東京駅近くの日本橋に開院して二周年を迎えることができました。

一九七八年、東京女子医科大学消化器病センター内科に入学、その後、成人医学センター、青山病院にて主に肝臓疾患の診療、研究に従事して参りました。そして東京女子医科大学教授・東京女子医科大学特定関連診療所戸塚ロイヤルクリニック所長として、予防医療の実践の場を与えて頂きました。ちょうど、東京女子医科大学に三十年間お世話になったこととなります。

当クリニックでは、C型慢性肝炎に對するインターフェロン療法など肝臓疾患を中心に消化器病全般、糖尿病・高脂血症などメタボリックシンドローム関連疾患の診断と治療を行っております。また、血液サラサラ検査や頸動脈エコー検査などを用いて予防医療にも効果を上げています。

二〇〇七年からは、慶応義塾大学大学院教授を兼任、地域医療を担うべくTV電話を利用した遠隔医療のプロジェクトに参加し、医療崩壊の解決策を見出そうと頑張っております。

引き続き皆さまに安心して頂ける「心温まる医療の実践」を目指し、職員一同努力して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

診療内容

内科一般、肝臓疾患、
消化器疾患、メタボリックシンドローム、
糖尿病、高脂血症など
血液サラサラ検査、頸動脈エコー検査

診療時間：月～金

午前九時から十二時三〇分
午後二時から五時
予約優先制、各種保険取扱

予約電話

〇三・三五一・六・二二〇〇

所在地

中央区日本橋三の二の六

栗原クリニック 東京・日本橋

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-2-6 TEL:03-3516-2200 TEL/FAX:03-3516-2212
3-2-6, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, 103-0027, Japan

(交通のご案内)

東京メトロ・総武線日本橋駅下車 出口より徒歩2分。
東京メトロ・東西線日本橋駅下車 出口より徒歩2分。
都営地下鉄・浅草線日本橋駅下車 出口より徒歩2分。
JR東京駅大丸の中を通り八重洲北口より徒歩3分。



URL

www.k-sarasara.com
kurihara@k-sarasara.com



栗原 毅 院長

アイランドパブキャンプ

テーマ

あったかいお店、やさしいお店

営業時間

11:30 ~ 24:00 年中無休

メニュー

こだわったのは:

○朝獲れの天然地魚を使ったメニューが人気です。

○国籍、ジャンルにこだわらず、お客様目線でのお料理。

○特に煮込み料理は自信あり!

時間と愛情を込めて丁寧仕上げています。



内装

150年前のイギリスの教会で使用していたステンドグラスを中心に、絵画やポスターなど、身近にアートを感じる事ができます。

ウッド調の色合いにビビッドなピンクのボトル棚が印象的です。



お酒の種類が豊富で、特に輸入ビールは十数種類をご用意しています。
店長はじめ、気さくなスタッフが、心からの笑顔でお客様のお越しをお待ちしています。

至渋谷

island pub *Camp*

西口

正面口

東急東横線
代官山駅



ふるさと市場

通信販売カタログ（平成 22 年夏号）

※会員の方の送料は無料です
Jネットが負担します

■お問い合わせ

■注文方法

ふるさと上越ネットワーク「お米」「上越商業サービス公社さん扱い」の商品とも、注文先は、【Jネット事務局】東京事務所
電話 03-6415-6277
です。ご請求は、商品発送後、【品代のみ】各販売業者さんからご注文の会員の方へ送ります。送料はJネットで負担しますのでご注文の皆さんにはかかりません。

上越米

通販販売カタログ(平成22年夏号)

おいしい新米をどうぞ!

米山山地、東頸城丘陵、関田山脈、南葉山地、西頸城山地など、上越市をとり囲む山々からの雪解け水で育まれた上越のお米。上越地域では、米を栽培するにあたって、農薬や化学肥料を減らす取組に、地域一丸となって取り組んでいます。上越のお米は、ふるさとかからお送りする安全・安心なお米です。

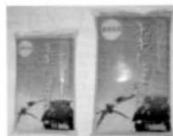


【1】(財)大島農業振興公社(大島区)

代表者 中條勝夫

住所上越市大島区牛ヶ鼻 2649 (〒942-1215)

電話 025-594-2856 F A X 025-594-2860



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	おおしま育ち 白米	5 kg	2,800円
②	おおしま育ち 白米	10 kg	5,600円

- 1 品種 コシヒカリ(100%)
- 2 栽培方法 3割減農薬・3割減化学肥料・除草剤使用1回
- 3 品質 一等級
- 4 食味 食味良好
冷めてもおいしく、お弁当に最適
- 5 その他 栽培の履歴有り

【2】(財)牧農林業振興公社(牧区)

理事長 中川耕平

住所 上越市牧区柳島 482-1 (〒943-0647)

電話 025-533-6763 F A X 025-533-6805



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	農薬・化学肥料を3割減らして栽培された米 牧産コシヒカリ 100%	5 kg	2,800円
②	玄米の栄養分が残っている米 (ビタミンB1・E、ミネラル等) 牧産コシヒカリ 100% 7分づき	5 kg	2,800円
③ ※	こしが強く、餅にするとよく伸びるもち米 牧産こがねもち 100%	5 kg	2,800円

- 1 品種 コシヒカリ(100%)
- 2 栽培方法 3割減農薬・3割減化学肥料・除草剤1回使用
- 3 品質 一等級
- 4 食味 香りが良く、食味良好
- 5 その他 栽培の履歴有り

- ※ 1 品種 こがねもち(100%)
- 2 栽培方法 慣行栽培 除草剤1回使用
- 3 品質 一等級
- 4 食味 こしが強く、食味良好
- 5 その他 栽培履歴あり《限定24個販売》

【3】味の謎蔵（特選米販売部）（三和区）

代表取締役 石塚 賢

住所 上越市三和区大 867-1 (〒 943-0314)

電話 025-532-4226 F A X 025-532-4189



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	さんわ産純粋コシヒカリ	5 kg	3,300円
②	さんわ産純粋コシヒカリ	10 kg	6,000円

1 品種 コシヒカリ (100%)

2 栽培方法 慣行米

3 品質 一等級

4 食味 完全鶏糞を主体とした土づくりにより食味指数の高いお米だけを精米直後に皆様にご購入戴いております。たくさんの方からとても美味しいと賞賛戴いております。

【4】(有)グリーンファーム清里（清里区）

代表取締役 保坂一八

住所 上越市清里区上田島 122 (〒 943-0504)

電話 025-528-4270 F A X 025-528-7339



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	清里産コシヒカリ	5 kg	2,400円
②	新潟県認証 特別栽培米 清里産コシヒカリ	5 kg	2,800円

1 品種 コシヒカリ (100%)

2 栽培方法 慣行米・5割減農薬・減肥料米

3 品質 一等級

4 食味 最良

5 その他 J G A P (生産管理工程) 認証取得により栽培の履歴有り

【5】(有)名立テクニカルファーム（名立区）

代表取締役社長 高宮靖之

住所 上越市名立区瀬戸 751-3 (〒 949-1625)

電話 025-538-2821 F A X 025-538-2821



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	名立のコシヒカリ(白米)	5 kg	2,500円
②	名立のコシヒカリ(白米)	10 kg	5,000円

1 品種 コシヒカリ B L (100%)

2 栽培方法 3割減農薬・3割減化学肥料

3 品質 一等級

4 その他 栽培の履歴有り

【6】(農)大潟ナショナルカントリー（大潟区）

代表理事 竹田香苗

住所 上越市大潟区潟田 581-1 (〒 949-3121)

電話 025-535-1126 F A X 025-534-2671



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	J A S 認証・新潟県認証 特選コシヒカリ	5 kg	2,900円

1 品種 コシヒカリ (100%)

2 栽培方法 減農薬・除草剤使用1回

3 品質 一等級 J A S 認証 新潟県認証

4 その他 栽培の履歴有り

【7】(有)朝日池総合農場(大潟区)

代表取締役 平沢栄一

住所 上越市大潟区内雁子 252-1 (〒949-3135)

電話 025-534-5955 F A X 025-534-5956



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	NPO法人 赤とんぼ認証 JAS・有機栽培米コシヒカリ100%	5kg	3,500円
②	新潟県認証栽培米コシヒカリ100%	5kg	2,900円

- 1 品種 コシヒカリ(100%)
2 栽培方法 有機米・除草剤未使用
3 品質 一等級 NPO法人 赤とんぼ認証 JAS 認証
4 食味 良食味

- 1 品種 コシヒカリ(100%)
2 栽培方法 減化学肥料・減農薬・除草剤使用1回
3 品質 一等級 新潟県認証
4 食味 良食味

【8】柿崎雪むろ利用組合(柿崎区)

代表者 楡井辰雄

住所 上越市柿崎区馬正面 1012-乙 (〒949-3214)

電話 025-536-4453 F A X 025-536-6116



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	新潟県認証 コシヒカリ	5kg	3,200円
②	新潟県認証 コシヒカリ(雪中貯蔵米)	5kg	3,450円
③	新潟県認証 コシヒカリ(雪中貯蔵・無洗米)	5kg	3,500円
④ ※	慣行栽培 コシヒカリ	5kg	2,500円
⑤ ※	慣行栽培 コシヒカリ(無洗米)	5kg	2,550円

- 1 品種 コシヒカリ(100%)
2 栽培方法 減化学肥料・減農薬
3 品質 一等級 新潟県認証
4 食味 良
5 その他 栽培の履歴有り
雪中貯蔵・無洗米(商品により一部異なります)

- ※ 1 品種 コシヒカリ(100%)
2 栽培方法 慣行米
3 品質 一等級
4 食味 良
5 その他 栽培の履歴有り(商品により一部異なります)

【9】頸城建設(株)不動農産部(浦川原区)

代表取締役社長 小池保信

住所 上越市浦川原区下猪子田 95-3 (〒942-0303)

電話 025-599-2216(フリーダイヤル 0120-59-8343) F A X 025-599-2364



商品番号	商品名	内容量	価格(税込)
①	NPO法人 赤とんぼ認証 JAS有機栽培米コシヒカリ ハサ掛け	1kg	1,600円
②	NPO法人 赤とんぼ認証 JAS有機栽培米コシヒカリ	5kg	6,000円
③ ※	有機肥料による化学肥料を使わない減農薬 コシヒカリ(特別栽培米)	5kg	2,600円

- 1 品種 コシヒカリ(100%)
2 栽培方法 有機栽培米・無化学肥料・無農薬
3 品質 一等級 NPO法人赤とんぼ認証 JAS 認証
4 食味 良 冷めてもおいしい
5 その他 栽培の履歴有り ハサ掛け天日乾燥(一部商品)

- ※ 1 品種 コシヒカリ(100%)
2 栽培方法 有機米・無化学肥料・8割減農薬
3 品質 一等級
4 食味 良 冷めてもおいしい
5 その他 栽培の履歴有り

◆ いずれの商品も、ご注文により 1Kg,2Kg,5Kg 入りをご用意できます

[12] 手づくり百人協同組合 (安塚区)

代表者 増野 いつ子

住所 上越市安塚区榎田 140 雪だるま物産館 (〒 942-0531)

電話 025-595-1010 F A X 025-595-1026



商品番号	商品名 (品種・認証等)	内容量	価格 (税込)
①	棚田百選米 (雪中貯蔵)	2 kg	1, 200円
②	棚田百選米 (雪中貯蔵)	3 kg	1, 800円
③	棚田百選米 (雪中貯蔵)	5 kg	3, 000円
④	棚田百選米 (雪中貯蔵)	10 kg	6, 000円
⑤ ※	棚田のはさかけ米 (雪中貯蔵)	5 kg	3, 500円
⑥ ※	棚田のはさかけ米 (雪中貯蔵)	10 kg	7, 000円

1 品種 コシヒカリ (100%)

2 栽培方法 慣行米

3 品質 一等級

4 食味 良好

◆ 2kg、3kgはナイロン袋、5kg、10kgは紙袋入りです

※ 1 品種 コシヒカリ (100%)

2 栽培方法 慣行米

3 品質 一等級

4 食味 香り好し、冷めても美味し

※ 袋は市販の紙袋になります。

[13] (株) じょうえつ東京農大

代表取締役 藤本彰三

住所 上越市大字吉浦字梨子平 1821-1 (〒 949-1705) [上越農場]

電話 025-531-5450 F A X 025-531-5455

住所 東京都世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学内 [本店]

電話 03-5477-2721 F A X 03-5477-2721

商品番号	商品名 (品種・認証等)	内容量	価格 (税込)
①	東京農大じょうえつ米・精米	3 kg	1, 800円
②	東京農大じょうえつ米・精米	5 kg	3, 000円
③	有機米・精米	3 kg	2, 400円
④	有機米・精米	5 kg	4, 000円
⑤	特上有機米・精米	3 kg	3, 600円
⑥	特上有機米・精米	5 kg	6, 000円

①②: 有機認証は未取得ですが、③④と同じ農法で栽培しました。遠赤乾燥。

③④: 有機 J A S 認証米を最新の遠赤外線乾燥機で乾燥し、色彩選別したものです。

⑤⑥: 有機 J A S 認証米を伝統的なハサで天日乾燥。色彩選別。

贈答品に最適なおコメです。

[14] 「ふるさと上越ネットワーク」ブランド米

商品番号	商品名 (品種・認証等)	内容量	価格 (税込)
①	コシヒカリ 新潟県認証 特別栽培米	1 kg	900円

◆ 品 種: コシヒカリ (100%)

◆ 栽培方法: 減化学肥料・減農薬

◆ 品 質: 新潟県認証

◆ 食 味: 良好

◆ その他: 栽培の履歴有り

※ご注文は、1kgより

受けたまわります。

生産者 曾我文隆

生産地 上越市大淵

精 米 受注ごとに J ネット事務局にて精米

(※精米機: サタケ製 グリーンワンパス BS300AS)

かみえち ご

上越後ふるさと市場

上越商業サービス公社取り扱い商品

魚住かまぼこ店

上越市春日新田5丁目19番18号

TEL 025-543-2438

FAX 025-544-5092



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
021	昆布巻蒲鉾	250g	670円	原料スリミのたら・いとよりも最高ランクSA級。昆布は道産真昆布の1等級を使用。
	かまぼこの生身を幅広のだし昆布で巻いた蒸し蒲鉾、真空包装			
022	板なし明太子入り蒲鉾	250g	560円	蒲鉾の旨みと明太子の味がマッチ。チョッピリ辛めで、ビールの肴に最適。
	かまぼこの生身に辛子明太子を混ぜて練り、蒲鉾型に成型した蒸し蒲鉾、真空包装			
023	板なしかに入り蒲鉾	250g	650円	かこの旨味、かまぼこの歯ざわりのよさ。美味。評価高い。
	かまぼこの生身にズワイガニのほぐし身を混ぜた蒸し蒲鉾、真空包装			

平八

上越市木田3丁目8番48号

TEL 025-524-3330

FAX 025-524-3352

Mail: heihachi@heihachi-kamaboko.com



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
012	塩するめ	L5枚	2,580円	厳選したイカを天日塩を使い、丁寧に作りました。そのまま焼いたり、天ぷらにして楽しんでください。
013	塩するめ	L2枚	800円	
031	きくらげ小板	220g	546円	独自に味付したきくらげと蒲鉾の食感が良く合います。
032	鮭小板	220g	945円	天然鮭を下ごしらえし五目蒲鉾の上このせた板付蒲鉾
033	穴子巻	250g	1,155円	活穴子をたれ焼きにして五目風蒲鉾の身にのせず巻きにした手巻蒲鉾

岩の原葡萄園

上越市北方 1223 番地
 TEL 025-528-4002
 FAX 025-528-3530
<http://www.iwanohara.sgn.ne.jp>
 Mail : mail@iwanohara.sgn.ne.jp



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
041	深雪花セット	720ml 各1本	4,551円	フレンチオーク樽でじっくり熟成させたまろやかな赤ワインと、自然清澄と低温発酵で爽やかに仕上げた白ワイン。
	深雪花 (赤)、深雪花 (白)、化粧箱入り			
042	スペリユールセット	720ml 各1本	3,479円	豊かな果実味と深みのある味わいの赤ワインと、はちみつを想わせる香りと豊かな酸が織り成すキレのある口当たりの白ワイン。
	スペリユール (赤)、スペリユール (白)、化粧箱入り			
043	プリティセット	720ml 各1本	2,515円	もぎたて葡萄そのままの香りとみずみずしい口当たりが特徴のフレッシュ&フルティなワイン。
	プリティールージュ (赤)、プリティブラン (白)、化粧箱入り			
044	プリティールージュ (赤)	720ml	1,100円	
045	プリティブラン (白)	720ml	1,100円	

田中酒造

上越市大字長浜 129 番地 1
 TEL 025-546-2311
 FAX 025-546-2433
<http://www.16.ocn.ne.jp/~noutaka/home.html>
 Mail : noutaka-tanakashuzou@eos.ocn.ne.jp



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
051	大吟醸 能鷹	720ml	2,624円	主席第一位の実績に輝く淡麗うま口の酒 原料米：山田錦 精白40%、日本酒度+4、アルコール度数16.5、酸度1.2
052	吟醸・特別本醸造 2本入セット	各720ml	2,963円	[吟醸] 吟醸酒の香りを楽しむ爽やかな酔い心地の酒 [特別本醸造] 最高の技術で丁寧に仕上げた淡麗うま口の酒 [吟醸] 原料米：山田錦・五百万石 精白50%、日本酒度+5、アルコール度数16.4、酸度1.3 [特別本醸造] 原料米：五百万石、雪の精 精白55%、日本酒度+6、アルコール度数16.5、酸度1.4
053	特別純米・上撰黒松 2本入セット	各720ml	2,476円	[特別純米] 越後杜氏の本格仕込みによる芳醇な風味とすっきりした口当たりの良い酒 [上撰黒松] 魅力溢れる本醸造りでひとクラス上を感じさせてくれる、すっきりした辛口の酒 [特別純米] 原料米：五百万石、雪の精 精白55%、日本酒度+6、アルコール度数17.3、酸度1.7 [上撰黒松] 原料米：五百万石、新潟早生 精白60%、日本酒度+8、アルコール度数15.6、酸度1.3

武蔵野酒造

上越市西城町4丁目7番46号
 TEL 025-523-2169
 FAX 025-524-3041
 http://www.musashino-shuzo.com
 Mail: hajime_k@musashino-shuzo.com



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
061	スキー正宗 特別本醸造	720ml	1,050円	越後高田、日本スキー発祥地にちなみ命名。やや甘口に感じる旨味のある特別本醸造酒です。全てのお料理に合う食中酒として、冷から熱燗まで美味しくお召し上がり頂けます。
062	春日山 天と地 辛口 本醸造	720ml	1,050円	上越藩公の居城があった春日山にちなみ命名。やや辛口で飲みやすいスッキリとした味わいが特徴の純米酒。冷からぬる燗まで美味しくお召し上がり頂けます。
063	華 (はな) 大吟醸	1,000ml	4,100円	原料米に五百万石を使用し、長期低温発酵により醸し出された大吟醸酒です。大吟醸特有のフルーティな香りをお楽しみ下さい。冷や又は常温で美味しくお召し上がり頂けます。

JAえちご上越 米酒センター

上越市春日新田5丁目3番11号
 TEL 025-543-0055
 FAX 025-543-5261



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
071	雁木通り	2kg	1,200円	上越産コシヒカリ米 100%
072	雁木通り	5kg	2,880円	
073	雁木通り	10kg	5,760円	

◎ 相場により変動あり。

えちご上越農業協同組合

上越市藤巻5番30号
 TEL 025-543-0055
 FAX 025-543-0068
 http://www.ja-ej.com
 Mail: Jkakouka@ja-ej.com



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
091	きんしゃり	5kg	2,800円	えちご上越管内で育ったおいしいお米です。一粒一粒に安心安全を込めてお届けします。
	コシヒカリ米100% ※相場により変動あり。			
092	こがね姫(切り餅)	40枚	2,500円	えちご上越管内で育った水稲モチ米こがねもち100%使用。衛生的なクリーンルームで添加物を使用せずに製造しています。使い易い個包装タイプです。
	水稲モチ米「こがねもち100%」使用			
093	越後みそ 味噌路 赤みそ	1kg×4	2,200円	えちご上越管内で育った大豆を原料に熟成させた、こくのある味噌です。

かんずり

妙高市西条438番地1
TEL 0255-72-3813
FAX 0255-72-0344
<http://www.haneuma.net/kanzuri/>
Mail: kanzuri@haneuma.net



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
101	かんずりセット #20	各1個	2,100円	かんずりの定番商品セットです。三年間ゆっくり熟成・醗酵させて造る、日本で唯一の醗酵香辛料です。
	かんずり(大) 80g、かんずり漬山菜 80g、かんずり漬えのき茸 80g			
102	かんずり(大)	80g/1個	630円	
103	かんずり漬えのき茸	80g/1個	630円	

山本味噌酒造場

上越市中央1丁目13番4号
TEL 025-543-2283
FAX 025-543-1373



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
111	コシヒカリみそ	1kg	1,103円	特別栽培新潟コシヒカリ米と特別栽培北海道大豆及び天日塩を原料とし塩分11%にひかえた長期熟成天然醸造手造り味噌です。
112	越の淡雪	1kg	772円	国産大豆と国産丸米を主原料に新潟県の特許技術による製造法で塩分を8.5%にひかえ、天然発酵でじっくりと熟成させた手造り味噌です。

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
113	みそ漬け (6品入)	320g	735円	手造りみそに長期間漬け込んだ越後風味のみそやのみそ漬けです。
	大根、茄子、胡瓜、生姜、昆布、山芋等			

石田弥菓子店

上越市中央1丁目5番1号
TEL 025-543-2502
FAX 025-543-2502



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
121	謙信の城	10ヶ入	1,260円	皮は乳菓で中餡は赤と白のミックスで生クリームを入れて造っています。
122	謙信銘菓 十三夜	10ヶ入	1,260円	ホイル焼きで、中の餡は黄餡で大納言を入れて造っています。
123	笹だんご	10ヶ入	1,365円	越後平野に取れるお米と餅草を主原料にした当店独自の製法によるものです。

冊戸裏庵

上越市中通町6番17号
TEL 025-525-8771
FAX 025-524-5449
<http://www.irorian.com>



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
131	寒椿	個包装90g	368円	新潟産水稲モチ米を使用した昔ながらのしょう油味のおかき。
132	寒椿マヨネーズ	個包装82g	368円	新潟産水稲モチ米を使用したマヨネーズ味のおかき。
133	日輪ごま	9枚	368円	新潟産のコシヒカリを使用したゴマせんべい。

大杉屋惣兵衛

上越市本町5丁目3番31号
 TEL 025-525-2500
 FAX 025-525-2159
<http://www.homepage3.nifty.com/ohsugiya/>
 Mail : ohsugiya_sohbei@nifty.com



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
141	翁 飴	20ヶ入	1,365円	江戸時代からの越後銘菓。 もち米、飴を角にかためたもの。
142	おぐらようかん 春日山	460g	1,365円	大納言の風味を生かした羊羹。 (題字は上杉謙信公)
143	くろようかん 第一義	480g	1,365円	丹精こめて練り上げた黒砂糖羊羹。 (題字は上杉謙信公)

菓子処 くさのや

上越市中央1丁目4番1号
 TEL 025-543-5351
 FAX 025-544-6302
<http://www.kusanoya.com>
 Mail : mail@kusanoya.com



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
161	笹だんご	10ヶかご入	1,390円	越後の上質米を原料に風味豊かなよもぎを加えた餅でつぶあんを包み、熊笹でくるんだものです。 (※地域によりクール便)
162	笹だんご	1ヶ	136円	
数量に応じ、サービス袋・箱にお入れいたします。				
163	ちまき	5ヶ入	630円	香り豊かな笹の葉でおいしい越後のもち米をくるみ、ゆで上げたものです。 (※地域によりクール便)

小竹製菓

上越市南高田町3番1号
 TEL 025-524-7805
 FAX 025-524-1735



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
171	小竹のサンドパン	5ヶ	630円	特製ホワイトクリームを付けた昔なつかしいコッパンパンです。

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
172	小竹のサンドパン	10ヶ	1,260円	特製ホワイトクリームを付けた昔なつかしいコッペンパンです。
173	小竹のサンドパン	15ヶ	1,890円	

十四代 高橋孫左衛門商店

上越市南本町3丁目7番2号
 TEL 025-524-1188
 FAX 025-525-3138
<http://www.etigo-ameya.co.jp>
 Mail: info@etigo-ameya.co.jp



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
181	翁 飴	12ヶ	798円	江戸時代より続く、高田の銘菓です。
182	栗 飴	2ヶ	1,733円	日本で初めて創製された、もち米の水飴です。
183	詰合せ (翁飴12ヶ、栗飴1ヶ、るり飴6ヶ)		2,310円	贈り物に最適な詰合せです。
184	笹 飴	20枚入	525円	

関のや製菓

上越市上曽根399番地の1
 TEL 025-528-4017
 FAX 025-528-4085



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
191	久比岐野銘菓 八社五社 (やしゃごしゃ)		1,365円	上越一円で広く歌われ踊り継がれる民謡「八社五社」。昭和49年に上越市無形文化財第一号に指定され、記念として造られたお菓子です。じっくりと練りこんだ小豆餡とクリーム餡の二種類があり、うす皮でしっとり焼き上げました。
	※夏期のみクール便 小豆5ヶ、クリームあん(白)5ヶ			
192	岩の原ワインゼリー		2,037円	日本の葡萄酒とワインの父、川上善兵衛の情熱により生まれた100余年の歴史を持つ伝統の味、岩の原ワインをたっぷり使用したワインゼリーです。味と香りで100余年のロマンを感じてください。
	赤ワインゼリー6ヶ、白ワインゼリー3ヶ			
193	岩の原オリジナルケーキ	1本	1,365円	岩の原ホワイトブランデーを使用した当店オリジナルケーキです。四種類の味が有り、それぞれの味を十分に楽しんでいただけるケーキです。
	アーモンド、紅茶、チーズ、チョコレートの4種類でお好みのものをご指定ください。			

紅屋

上越市仲町4丁目5番4号
TEL 025-523-3098
FAX 025-523-3175



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
211	塩羊羹	1本	525円	昔ながらの製法で作られた義の塩を使用した、さっぱりとした塩味の風味を大切に塩羊羹を仕上げました。
212	笹だんご (化粧箱入)	10ヶ入	1,413円	越後高田を代表する故郷の味。笹の葉に包まれたよもぎだんごの野趣豊かな風味は、何時も新鮮な郷愁をたたえています。
213	笹だんご (化粧箱入)	20ヶ入	2,825円	※1ヶ(45g) 136円

マール市原

上越市大学前204
TEL 025-523-3175
FAX 025-526-1395



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
221	雪中梅入り酒ケーキ	1本	1,200円	〔雪中梅入り酒ケーキ〕 地元の雪中梅を使用した、しっとりとした酒ケーキです。
222	雪中梅入り酒ケーキと 春日山謙信流陣太鼓		2,300円	〔春日山謙信流陣太鼓〕 高田公園をイメージし桜の花と蓮の実をお菓子にのせ焼き上げました。中には白アンと小倉アンがそれぞれ入っています。
	雪中梅入り梅ケーキ1本、春日山謙信流陣太鼓6ヶ入			
223	笹だんご	20ヶ入	2,750円	手作りの笹だんご。できたてをお届けします。

三野屋菓子店

上越市中央1丁目1番11号
TEL 025-543-2538
FAX 025-543-2391
Mail : supersonic@bg.wakwak.com



注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
231	籠籠だんご	8本入	1,260円	林美美子の名作「放浪記」にも登場する当地の名物です。白餡を丸めて串にさし、一本一本でゆかりに焼き色をつける様に焼きあげる。100年間変わらぬ手作りにて、味と歴史を伝え続けています。

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
232	笹だんご	20ヶ入	2,940円	新潟県を代表するお土産の一つです。餡が美味しい事が自慢の当店の笹だんご。ぜひともご賞味下さい。
233	桜サブレ	10枚入	1,050円	日本三大夜桜を誇る上越市の木は「桜」です。桜の花の塩漬けを一輪映かせて、焼き上げてあります。

杉田味噌醸造場

上越市本町4丁目3番16号
TEL 025-525-2512
FAX 025-523-6350

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
251	雪の花みそ 中辛	4kg 朱樽	3,675円	
252	雪の花みそ 中辛 [贈答用、化粧箱入]	1kg×5	3,413円	
256	雪の花みそ 中辛 [自家用、簡易包装]	1kg	724円	
257	雪の花みそ 甘口 [自家用、簡易包装]	1kg	778円	
253	越後みそ漬け 昔づくり辛口	1kg	2,100円	
254	越後高田 甘口みそ漬け	1kg	2,468円	
255	みそ・みそ漬セット 中辛3kg、甘口みそ漬700g		3,896円	

有わかなみ

新潟県上越市板倉区高野1,351
TEL 0255-81-4170

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
261	姫あられ		368円	

有岡田醤油味噌醸造場

新潟県上越市東本町3丁目2番24号
TEL 025-523-4367

注文番号	商品名	数量	金額(税込)	商品解説
271	濃い口あぜみち醤油	1本	630円	
272	越後味噌はさぎ [つぶ味噌]	1本	760円	
273	越後味噌ふるさと [つぶ味噌]	1本	530円	
274	越後味噌ふるさと [こし味噌]	1本	530円	

地元に着したタウン誌

月刊 **JACK LAND**
上越エリア情報誌 ジャックランド

350円

毎月25日発売

毎月購読承ります

株式会社 ジャック

〒943-0165 新潟県上越市上島464-1 エリート2F
TEL.025-524-4275 FAX.025-524-4451
e-mail hensyuubu@jack-land.com

ジャックランド 検索

会の運営に
ご協力いただいている
特別賛助会員です。

J

- ★特別賛助会員とJネットはお互いに協力しながら良いまちづくりをめざします。
- ★Jネットでは会の運営に協力していただける特別賛助会員を募集しております。
- ★皆様のご存知の企業・団体等で賛助会員をお願いできるようなところがありましたら是非ご紹介ください。

NPO法人 食の工房ネットワーク

NPO法人・食の工房ネットワークは、私たちが目指す「食べる側」と「作る側」を本来の姿につなぐ活動を中心に、お互いの立場から結びつきを大切に、畑から食卓までの流れの中で、安全性や品質に「透明性」を求めることを共通の目的として設立いたしました。消費者と生産者がお互いに通じながら、安全な地場の生産品を、安心して食べることが出来るように「食に関するプラットフォームづくり」を進めています。



上越市の田園と妙高山

こんな活動をしています

- 農産物・加工品に関する情報収集及び情報発信
- 農産加工品に関する調査及び研究
- 地場農産物・加工品の消費拡大事業
- 自然を通じて子供たちに五感を感じさせる活動

これらのコンサルティング・教育・講習を
中心に事業展開しています。

〒943-0831 新潟県上越市下正善寺1027-2 正善寺工房内
TEL・FAX 025-523-0621



(有)上越商業サービス公社

上越観光物産センター内
上越市藤野新田175-1 〒943-0171
TEL 025-545-0123 FAX 025-545-1113
営業時間 9時～18時
休館日 月曜日、祝日の翌日

上越の名産・特産品を一堂に取り揃えています。
お土産選びにぜひご利用ください。

取扱商品例
塩するめ、かまぼこ、ワイン、日本酒、米、そば、
ちまき、おかき、笹だんご、各種銘菓

通信販売も行っています。Jネット会員の皆様ご利用される場合は、送料は不要です（送料は、Jネットが負担します）。ご贈答等にもご利用ください。



創業明治23年
伝統の味
岩の原ワイン

～日本の本格的ワイン発祥の地～

株式会社 **岩の原葡萄園**

TEL 025-528-4002 新潟県上越市北方1223番地
 URL <http://www.iwanohara.sgn.ne.jp/>

1890年(明治23年)、新潟のここ上越市で、日本のワインとぶどうの父「川上善兵衛」は、岩の原葡萄園を拓きました。日本の気候風土に合った「マスカット・ベリーA」等の優良ぶどうを生み出すなど、国産ワインの歴史に多くの足跡を残し、西洋に負けない本格ワイン造りを目指しました。2009年度国産ワインコンクールでの金賞及びカテゴリー賞受賞等、幾多のワインコンクールで受賞の栄誉に輝いてきた「岩の原ワイン」の始まりでした。

「岩の原ワイン」は、上記のホームページからも購入できるようになりました。
 お問い合わせ 株式会社岩の原葡萄園 025-528-4002

山里のすべてが湯ったり村です。

月明 蒼穹
 紫昏 叢雲
 花薫 豊饒
 風鳴 伝説
 瀬音 狹霧
 寂靜 星雨



十人十色の癒しの湯
かわとりの湯 湯たり村 上越市街E1601
 TEL 541-2611 FAX 541-2616

ふるさとの便り 毎日お届けします

日刊

上越タイムス

上越タイムス

検索

各種お問い合わせは

☎ 025-525-6666

購読料は1ヶ月 2,875円(税別送料込)

※お支払いは郵便振替となります

紙面に掲載した写真提供致します。

※詳しくはお問い合わせ下さい。

株式会社 上越タイムス社

〒943-0823 新潟県上越市高土町2-4-6

TEL 025-525-6666 FAX 025-525-0061

URL www.j-times.jp



携帯メールニュース 好評配信中!

ぽけっとタイムス

QRコードを読み込むか、

times@naisin.jp に空メールを送信



空メールを送って
 すぐ登録!

JAえちご上越管内の
 大豆・米を使用した自慢の味噌です。

熟成みそ
味噌路



赤みそ・白みそカップ入り

お問い合わせは



JAえちご上越
 えちご上越農業協同組合 あぐりフーズ
 〒942-0061 新潟県上越市春日新田5-3-11

☎ 0120-81-1093

インターネットから
 お買物できます。「ごちそう市場」www.ja-ichiba.com

介護付有料老人ホーム
ザ・サンシャイン上越



ツクイは在宅介護を始めて今年で27年。
トータルケアをご提供するため
「ザ・サンシャイン」もスタートしました。
介護のプロフェッショナルとして、
お客様やご家族と真剣に「介護」に
向き合っています。
全ては笑顔で穏やかな毎日を
過ごしていただくために。

暮らしのサポート
は ツクイ

お問合せ・資料請求・入居に関するご相談はお気軽に

介護付有料老人ホーム ザ・サンシャイン上越
〒942-0081 上越市五智 2-1-1

025-531-0883

http://www.tsukul.net ツクイ 検索



<本社・事業主体> 〒233-0002 横浜市長南区上大岡西 1-9-1
株式会社ツクイ TEL 045-642-4115(代)

JASDAQ
6431-0100

●定員 90名(全室個室)
●入居料無料 / 要介護

高田公園に咲き誇る

「はす」を見に来ませんか?



高田公園から歩いて約15分
上越初の本格的な

シニアレジデンス

「ふるさと上越ネットワーク」
会員限定(ご家族・友人含む)

体験入居宿泊料金

1人入居(1泊あたり)

5,250円 → 2,500円(税込)

2人入居(1泊あたり)

6,000円 → 3,000円(税込)
2人で

※お食料代が別途かかります。(朝食420円・昼食630円・夕食840円)

ただ今、
体験入居が
半額
(8月末まで)

上越初の本格的なシニアレジデンス

住宅型有料老人ホーム

サンクス高田自在館

〒943-0892 新潟県上越市中央3-10-15 (高田西側)

【申し込み要】(受付時間9:00~18:00)土、日もOK

TEL:025-521-2264

【お申し込み】24時間受付

FAX:025-521-2733

【お申し込み】24時間受付 上越 自在館

新しい時代の交流

ふるさと上越ネットワーク

ふるさとの出身者との交流の輪を広げましょう。
都会に上越の新しい「地縁」が育っています。
入会はJネット運営事務局で受け付けています。
お友だちをご紹介ください。



Jネット運営委員会事務局
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-16-6
二葉ビル6階6B号
TEL 03-6415-6277 FAX 03-6415-6299
ホームページ: www.joetsu.gr.jp
※インターネットからも入会申し込みできます。

入会資格のキーワードは「上越」

(株) じょうえつ東京農大

本店 〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1
電話 (FAX) 03-5477-2721
上越農場 〒949-1705 上越市大字吉浦 1821
電話 025-531-5450 FAX 025-531-5455

東京農業大学が、地元関係者と一緒平成20年4月に設立した会社です。桑取谷浜地区で有機農場を経営(JAS認証取得)。農業・化学肥料を一切使用しないで、コメと野菜を栽培。ダイコン酢漬け、乾燥野菜も生産。

- 学術研究の深化と成果の社会還元
- 実践的教育の遂行
- 耕作放棄地再開発による地域振興
- 東京農大ブランドの確立

安全で環境に優しく美味しい農産物をお届けします。

直売、ネット販売も行っています。
詳しくは www.jnodai.co.jp

上越市の主な催し

「上越市のイベントカレンダー」より、夏の主な催しをとりあげてみました。是非参加されませんか。なお、都合により変更になる場合もありますので、「問合せ先」または、市の共生まちづくり課（電話：025-526-5111）に確認してください。

平成22年度 イベント・大会等一覧

JULY 7月



イベント・大会名	開催日	会場	実施内容	問合せ先
なおえつ海水浴場海開き	7月1日(休)	なおえつ海水浴場	安全祈願祭 初泳ぎ	社)上越観光コンベンション協会 TEL025-543-2777
企画展 「日本、そしてその美しさ 今里隆建築作品写真展」	7月3日(出) ～9月5日(日)	小林古径記念美術館・ 小林古径邸	小林古径邸復原工事監督者で、古径邸の高弟でもある今里隆先生の設計した建物を写真と資料で回顧します。古径邸に関する資料も紹介します。	小林古径記念美術館 TEL025-523-8680
コレクション展Ⅱ 「古径作品の建築美」	7月3日(出) ～9月5日(日)	小林古径記念美術館	企画展にあわせ、当館で所蔵する古径の作品の中から日本の伝統的な建築を描いた作品を中心に紹介します。	小林古径記念美術館 TEL025-523-8680
企画展 「日本、そしてその美しさ 建築家 今里隆の軌跡」今里隆によるギャラリートーク	7月3日(出)	小林古径記念美術館 (小林古径邸)	これまで手がけた建築の数々について、今里先生から解説をいただきます。	小林古径記念美術館 TEL025-523-8680
和服を着て、展覧会へ出かけよう	7月3日(出) ～9月5日(日)の土日	小林古径記念美術館・ 小林古径邸	日本の伝統文化である和服（浴衣や甚平なども可）を着て、美術館や小林古径邸にお出かけください。和服来館者は展覧会料金半額にて入館できます。	小林古径記念美術館 TEL025-523-8680
企画展Ⅰ 「高田藩と維新の嵐」	7月3日(出) ～9月5日(日)	総合博物館	激動の幕末・維新の時代を高田藩の人々はどうに捉取りをしたのか、市内に残る資料から描きだします。	総合博物館 TEL025-524-3120
ほたるコンサート	7月3日(出)	大島区・大島地域生涯学習センター	ゲストを招いてのコンサート。地元合唱団との共演もあります。	大島音楽協会事務局 (新堀学園内) TEL025-594-3547
謙信KIDSスクールプロジェクト「古径の楽校」	7月4日(日)・10日(出)	小林古径記念美術館・ 小林古径邸	市内の小中高生を対象とした、本格的な日本画の講座です。	小林古径記念美術館 TEL025-523-8680
第65回新潟県美術展覧会（県展）上越展	7月15日(休) ～19日(月祝)	上越市教育プラザ体育館（予定）	県内最大の美術展覧会である「県展」の巡回展です。	新潟日报社上越支社 TEL025-523-9701
夏季特別展 「イルカショー」	7月17日(出) ～8月22日(日)	水族博物館	バンドウイルカによる、ダイナミックな楽しいショー。イルカの特徴を知っていただくために、イルカとのふれあいコーナーも設けます。	水族博物館 TEL025-543-2449

※イベント内容は変更になる場合があります。事前にご確認ください。

安塚サマーイベント	7月17日(出) ～8月29日(日)	雪だるま高原を中心に安塚区内	わくわく動物園などのイベントを中心に安塚区内の美術街や記念館の蔵出しイベントなどを開催します。	キュービットバレイ Tel.025-523-2041
第40回上越市民芸能祭 「合唱のつどい」	7月18日(日)	上越文化会館大ホール	上越市内の各合唱団体が、様々なジャンルの合唱を披露します。	生涯学習推進課 Tel.025-545-9245
なかこう縄文まつり	7月18日(日)	中郷区・泉縄文公園	県内有数の縄文遺跡の発掘地として知られる縄文公園内で、縄文体験や自然体験等を行うイベントです。	中郷区まちづくり振興会 Tel.0255-74-2455 中郷区総合事務所 総務地域振興グループ Tel.0255-74-2411
第10回ビーチバレー大会 上越マリニックアップ	7月18日(日)	船見公園 ビーチバレーコート	日本ビーチバレー連盟の公認大会。男子32チーム女子24チーム(予定)が参加し、真夏の砂の上で熱い戦いを繰り広げます。※要申込	上越マリニック事務局 志賀 imarinucup@yahoo.co.jp
海の日イベント	7月19日(月祝)	大潟区・鶴の浜海水浴場	海の幸満載の海鮮汁を500食用意して、振舞います。	大潟観光協会 Tel.025-534-4465
卯の花音楽祭	7月19日(月祝)	大潟区・大潟コミュニティプラザ	「夏は来ぬ」の作曲家「小山作之助」を顕彰する音楽祭。市内音楽サークル・ゲストによる合唱・合奏・混声四部合唱などが楽しめます。	卯の花音楽祭実行委員会事務局 Tel.025-534-2111
上越まつり	7月23日(金)～29日(木)	上越市内各所	高田地区、直江津地区で開催される夏祭り。御輿がふたつの地区を結びます。大民踊流し、御輿の川下りのほか、大花火大会、お糺米奉納などが行われます。	㈠上越観光コンベンション協会 Tel.025-543-2777
上越はすまつり	7月23日(金) ～8月15日(日)	高田公園(上越市本城町)ほか	「東洋一」といわれるはすの観察会や灯ろう展示、写真展示や観蓮茶会などのほか、期間中にはドイツの味覚が味わえる「上越オクトーバーフェスト」も開催されます。	㈠上越観光コンベンション協会 Tel.025-543-2777
町家特別見学会	7月24日(出)～8月15日(日)の土・日	旧今井染物屋、旧金津煮太郎橋店	はすまつりの開催に合わせ、多くの皆さんに町家を知っていただくため開催する催しで、町家スタッフが高田の町家について説明します。	上越市文化振興課 Tel.025-526-6903
小林古径邸で味わう和の涼味	7月25日(日)	小林古径邸画室	日本の伝統的数寄屋建築である小林古径邸で涼やかなお菓子をいただきます。	小林古径記念美術館 Tel.025-523-8680
ファミリー観光地引網	7月25日(日)・29日(木)	大潟区・鶴の浜海水浴場	朝7時から鶴の浜海水浴場に網を引き、採れた魚は、じゃんけん大会で勝てばプレゼント。子供連れのお親子が対象。※海鮮汁なし	大潟観光協会 Tel.025-534-4465
地引網	7月25日(日)	柿崎区・川西海岸	早朝に地引網を仕掛け、参加者全員で網を引きます。参加者には海鮮汁が振舞われます。	柿崎観光協会 Tel.025-536-6712
釣り大会	7月～8月	直江津港	普段は入ることができない直江津港内の施設で行われる釣り大会です。	産業立地課 Tel.025-526-5111
みなと見学会	7月～8月	直江津港	直江津港の機能や役割についてわかりやすく説明し、国土交通省監督測量船なおかぜに乗りこえて海上から直江津港を見学できるイベントです。	産業立地課 Tel.025-526-5111
ハーブまつり	7月中旬予定	安塚区・道の駅雪だるま物産館	ラベンダーの摘み取り、ラベンダースティックの製作体験ができます。ハーブジェラート、ハーブティーなどハーブ製品の販売もあります。	雪だるま物産館 Tel.025-595-1010
不動山登山	7月下旬 ※未定	名立区・不動山	上越市の最高峰・不動山(1430.1m)の登山を行います。記念品のプレゼントもあります。※要申込	名立体育協会事務局(名立区総合事務所内) Tel.025-537-2182
第35回上越市幼年野球大会	7月31日(出) ～8月2日(月)	上越市少年野球場ほか	地域や小学校区単位で編成した小学生の野球チームの大会です。	事務局(上越市体育協会) Tel.025-525-4119
高田城三重櫓ライトアップ	7月	高田城三重櫓	上越まつりにあわせ、高田城三重櫓のライトアップを実施します。	上越市文化振興課 Tel.025-526-6903

※イベント内容は変更になる場合があります。事前にご確認ください。

AUGUST

8月



イベント・大会名	開催日	会場	実施内容	問合せ先
安塚歩行天まつり (2輪4輪部品交換会)	8月1日(日)	安塚区・安塚地内	早朝から実施する2輪4輪部品交換会のために全国各地から愛好者が集まります。様々な屋台やお店が出店され賑わいます。	安塚商工会 TEL025-592-2265
おおしま夏まつり	8月1日(日)予定	大島区・多目的ホールふれあい館	たくさんの屋台が並び、楽しいゲーム大会や大抽選会などが行われます。午前には、大島区体育祭も行われます。	おおしま夏まつり運営委員会(大島まちづくり振興会内) TEL025-594-3122
ブルーベリー摘み取り体験とそば粉を使った料理体験	8月1日(日)(予定)	牧区・牧ふれあい体験交流施設	牧ふれあい体験交流施設の果樹園で実ったブルーベリーの収穫体験及び、収穫したブルーベリーやそば粉を使っての料理体験を行います。※要申込	牧区総合事務所 産業建設グループ TEL025-533-5141
名立まつり	8月1日(日)	名立区・うみてらす名立 多目的広場	不動山麓で採取した火と水を、豊漁・豊作を願いながら、神輿とともにうみてらす名立へ。名立太鼓の演奏などがあり、海面に映し出される美しい花火を堪能いただけます。	名立まちづくり協議会事務局(名立区総合事務所内) TEL025-537-2121
ファミリー観光地引継	8月2日(月)・6日(金)・13日(金)・15日(日)	大湯区・端の浜海水浴場	朝7時から端の浜海水浴場にて網を引き、採れた魚は、じゃんけん大会で勝てばプレゼント。子供連れのお客が対象。※海鮮汁なし	大湯観光協会 TEL025-534-4465
企画展 「日本、そしてその美しさ 建築家 今里隆の軌跡」今里隆によるギャラリートーク	8月7日(出)	小林古径記念美術館(小林古径邸)	これまで手がけた建築の数々について、今里先生から解説をいただきます。	小林古径記念美術館 TEL025-523-8680
第14回なんばまつり	8月7日(出)・8日(日)	南葉高原キャンプ場(上越市大字後谷)	日本海まで一望できる南葉高原キャンプ場でのイベント。ニジマス釣り、めだかすくい、もちつき大会、キャンプファイヤーなどを楽しんでください。	南葉ロッジ TEL025-524-9046
うらがわらまつり	8月7日(出)(予定)	浦川原区・コミュニティプラザ駐車場	保倉川太鼓、上越マーチングバンド演奏、射的、おもちゃ屋台、大抽選会などを実施します。	NPO夢あふれるまち浦川原 TEL025-599-2490
柿崎時代夏まつり	8月7日(出)	柿崎区・総合事務所前駐車場	各種イベント(内容は検討中)や露店の出店があり大勢の人で賑わいます。	柿崎時代夏まつり実行委員会 TEL025-536-6712
第12回越後よしかわやっつれ祭り	8月7日(出)(予定)	吉川区・原之町商店街	稲穂竿灯に灯がともると、子どもみこし、竿灯みこしの運行が行なわれます。歩行者天国や各種アトラクション、露店にもぎやかさを盛り上げます。	越後やっつれ祭り実行委員会事務局(吉川商工会内) TEL025-548-2109
きよさと夏まつり	8月7日(出)	清里区・清里中学校グラウンド	神輿渡御、区内の小中学校児童による吹奏楽演奏・合唱、YOSAKOI(ヨサコイ)演奏、太鼓演奏、花火大会などが行われます。露店もいっぱい出店します。	清里まちづくり振興会 TEL025-529-1218
第40回上越市少年野球大会	8月7日(出)~9日(日)	高田公園 野球場ほか	地域や小学校区単位で編成した主に中学生の野球チームの大会です。	事務局(上越市体育協会) TEL025-525-4119

第32回頸城の祭典	8月8日(日)	頸城区・ユートピアくびき	園児の踊りや小学生の演奏、大民踊流し、キャラクターショー、地元芸能ステージなどの様々なイベントのほか、縁日や露店が立ち並びます。	頸城の祭典実行委員会事務局 Tel.025-539-2066
納涼花火大会	8月8日(日)	柿崎中央海岸	柿崎中央海岸で打ち上げられる花火は約110種。特に海に向かって打ち上げる海中、海空のスターマインは豪快で、見事です。	柿崎観光協会 Tel.025-536-6712
なかごう夏まつり	8月8日(日)	中郷区・総合体育館駐車場	12時間スポーツトライアルやカラオケ大会やよさこいライブ、ちびっこ遊園地、縁日屋台、ステージショーなどで会場は盛り上がります。	中郷区まちづくり振興会 Tel.0255-74-2455 中郷区総合事務所産業建設グループ Tel.0255-74-2692
直江津港フェスティバル2010	8月上旬	直江津港	船舶の一般公開をはじめ、各種物販やステージイベントなどが実施されます。	産業立地課 Tel.025-526-5111
第40回上越市野球大会	8月14日(土)・15日(日)	高田公園野球場ほか	地域や小学校区単位で編成した高校生、一般の野球チームの大会です。	事務局(上越市体育協会) Tel.025-525-4119
不動ふるさと夏祭り	8月15日(日)・16日(月)	名立区・不動地域一円	清流名立川でのニジマスのつかみ取りや、盆踊り、花火大会などが行われます。	不動産を創る会事務局 澤田 清一 Tel.025-538-2426
関田八幡祭	8月18日(水)	板倉区・関田八幡社	三味線や横笛、太鼓にあわせて天狗の舞と獅子舞が披露されます。神楽の前後には上杉謙信が勝利をおさめたときに舞われたという「関田古代詞」が踊られます。	上関田町内会長(細井孝美) Tel.0255-78-4403
尾神岳PGステューデントカップ2010	8月19日(木)・20日(金)	吉川区・尾神岳エリア	1st Classのバイロンレースや2nd Classデュレーション、Open Class ターゲットなどの競技が行われる学生連盟PGリーグ対象大会です。※要申込	吉川区総合事務所教育・文化グループ Tel.025-548-2311
謙信公祭	8月21日(土)・22日(日)	春日山城史跡広場ほか春日山城跡周辺	戦国の英雄、上杉謙信公の武勇と遺徳を偲び開催される祭り。神輿巡行ののり上げ、武てい式、出陣行列、川中島合戦の再現、大民踊流しなどが行われます。	謙信公祭協賛会事務局(上越市観光振興課内) Tel.025-526-5111
お盆特産市	8月中旬予定	安塚区・道の駅雪だるま物産館	採りたて野菜の直売をメインに、地元かあちゃんの手づくり加工品、ちまき、笹だんご、かきもち、漬け物などの販売や、スイカ割りやスイカの無料サービスもあります。	雪だるま物産館 Tel.025-595-1010
鶴の浜温泉フェスティバル	色彩花火(8/4・5・11・12・21)※本祭り(8/21)※開催日は予定	大潟区・鶴の浜海水浴場一帯	夏のシーズン中、音楽に合わせて打ち上げる「色彩花火」を5回実施します。最終日には宝探しゲームなどを実施するほか、夜には「色彩花火」が打ち上げられます。	大潟観光協会 Tel.025-534-4465
花・野菜まつり	8月中旬	吉川区・道の駅よしかわ杜氏の郷	盆花や新鮮な夏野菜などの販売を行います。	よしかわ杜氏の郷 Tel.025-548-2331
ビーチフットボールジャパンツアー2010第10回リベンジ上越大会	8月21日(土)・22日(日)	たにはま海水浴場	日本で生まれたラグビーとアメリカンフットボールを合わせたようなルールで行われるビーチスポーツ。熱い砂の上で、約30チームが熱い戦いを繰り広げます。※要申込	NPO法人ワセダクラブ北信越支部内 Tel.025-521-7213
JBMXF ジャパンシリーズ第3戦(東日本BMX選手権大会兼上越市長杯)	8月22日(日)	上越市バイシクルモトクロス場	2011年UCI BMX世界選手権コンベンション大会代表選考会も兼ねた第3戦。5歳~40歳以上がクラスに分かれ、熱戦を繰り広げます。	新潟県BMX協会上越支部 Tel.025-524-6555
町家見学会	8月22日(日)	旧今井染物屋、旧金津憲太郎書店	町家スタッフが高田の町家の魅力について説明します。	上越市文化振興課 Tel.025-526-6903
塚之宮八幡宮例大祭	8月22日(日)・23日(月)	板倉区・塚之宮八幡宮	8月22日には山車や神輿、民謡流しを行い、23日には地元団体による各種イベントが開催されます。境内には露天が立ち並び、祭礼の雰囲気を感じています。	会長 小林国俊 Tel.0255-78-2015

※イベント内容は変更になる場合があります。事前にご確認ください。

第21回水族博物館写生会	8月23日(月) ～10月31日(日)	水族博物館	上越市立水族博物館で飼育している様々な水生生物を参加者が観察して、写生することにより、水生生物への興味や理解を深めていただきます。	水族博物館 Tel.025-543-2449
上越市民芸能祭40周年記念事業	8月29日(日)	上越文化会館大ホール	上越市民芸能祭に出演している市内の各種芸能団体が一緒に、日頃の練習の成果を披露します。	生涯学習推進課 Tel.025-545-9245
第24回山本ぶどう祭り	8月29日(日)	浦川原区・山本ぶどう園エリア、メイン会場：展望台広場	保倉川太鼓演奏や、よさこいソーラン、○×クイズ、ビンゴゲーム、親子で早食いトライアスロン、民謡踊り、大抽選会などのイベントを行います。	山本ぶどう組合長 大久保一郎 Tel.025-599-3729 浦川原区総合事務所 産業建設グループ Tel.025-599-2301
中郷区体育祭	8月29日(日)	中郷区・中郷総合運動公園	中郷区内各地区対抗の体育祭。綱引きやリレーといった定番から、家族みんなで楽しめる種目まで、さまざまな競技が行われます。	中郷区まちづくり振興会 Tel.0255-74-2455 中郷区総合事務所 教育文化グループ Tel.0255-74-2695
信越トレイル「深緑の森散策会」	8月29日(水)	信越トレイル	深緑の久々野峠から巨木の森(森太郎、森姫)のブナ林の息吹を体感じ、関田山脈の自然を楽しむトレッキングの散策会です。※要申込	板倉保養センター(やすらぎ荘) Tel.0255-78-4833
第22回上越レガッタ	8月29日(日)	関川大橋上流特設会場	関川の水面を舞台にボートレースが繰り上げられます。戦場やグループ単位で参加し、河川敷での応援よりもバーベキューに力が入るクルーも見られます。※要申込	事務局(上越市教育委員会体育課) Tel.025-545-9246
高田城三重櫓ライトアップ	8月	高田城三重櫓	はすまつりにあわせ、高田城三重櫓のライトアップを実施します。	上越市文化振興課 Tel.025-526-6903



名立区

平成22年度 イベント・大会等一覧

SEPTEMBER

9月

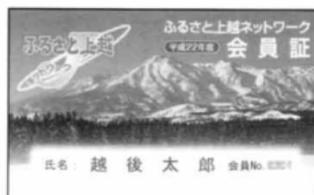


イベント・大会名	開催日	会場	実施内容	問合せ先
秋の観光地引綱	9月5日(日)～10月31日(日) (毎週日曜日と祝日)	大潟区・鶴の浜海水浴場	朝7時から綱を引き、採れた魚は、じゃんけん大会でプレゼント。温かい海鮮汁が振舞われます。※11/3以降は海鮮汁なし	大潟観光協会 Tel.025-534-4465
中郷ゴルフ大会	9月5日(日) (予定)	中郷区・松ヶ峯カントリー倶楽部	中郷区在住の市民並びに中郷区内事業所勤務者によるゴルフ大会です。	松ヶ峯カントリー倶楽部 Tel.0255-74-2456
トマトまつり	9月上旬予定	安塚区・道の駅雪だるま物産館	高原とまともやかあちゃん手づくりの惣菜の販売。トマトジェラート、トマトを使った創作料理も楽しめます。	雪だるま物産館 Tel.025-595-1010
棚田の稲文字祭り(秋)	9月11日(土) (予定)	清里区・棚田地内の田んぼ (県道脇)	春に植えた稲文字の稲刈り、はさ掛けのほか、刈り株当てクイズ、はさかけタイムレース、田んぼの中心で〇〇を叫ぶコンテストなどのイベントも行われます。	棚田地区農家振興会 Tel.025-528-7131
健康ウォーク	9月12日(日) 予定	市内 (未定)	健康づくりと体力維持を目的に、市内各地のウォーキングを行います。※要申込	中郷区体育協会事務局 一とびあ中郷内 Tel.0255-74-2338
稲刈交流体験 (稲刈りツアー)	9月18日(土)・19日(日)	清里区・北野地内	田舎のどかな風景の中で、稲刈り、はさ掛け、芋掘り、そば打ちなどの体験や地元集落との交流会を行い、都市と農村の交流を深めます。	棚田地区農家振興会 Tel.025-528-7131
名立大鍋祭り	9月19日(日) ・20日(月)祝	名立区・うみてらす名立	新鮮な山海の素材をふんだんに使い、500人分が一度に作れる大鍋で作ったカニ汁、つみれ汁、エビのすり身汁等を販売するほか、特産品まつりなども開催します。	名立観光協会 Tel.025-537-2203 うみてらす名立 Tel.025-531-6300
企画展 「人物画の魅力～古径作品をととして」	9月23日(木)祝 ～12月12日(日)	小林古径記念美術館・小林古径邸	古径は初期には歴史画を、晩年は身近な人物や現代に生きる人々を描いています。どの作品もモラルに対する敬意や愛情にあふれています。所蔵品を活用し、古径が描いた人物画の魅力を紹介します。	小林古径記念美術館 Tel.025-523-8680
企画展Ⅱ 「蟹所産品展～雄新を駆け抜けた雄城の文人とクラフト作家・内田邦夫～」	9月23日(木)祝 ～12月12日(日)	総合博物館	江戸後期から昭和初期にかけて活躍した頸城地方出身あるいはゆかりの文人たちや、当市出身で今年生誕100年を迎えるクラフト作家・内田邦夫の作品を紹介します。	総合博物館 Tel.025-524-3120
大池まつり	9月23日(木)祝	頸城区・大池いこいの森第3キャンプ場	昔、大池で行われていた艦上げの行事を再現したお祭り。魚のつかみどりや、青空市場などが行われます。	大池まつり実行委員会事務局 Tel.025-530-4540
小川未明文学館特別展	9月25日(土) ～10月31日(日)	小川未明文学館	上越市出身の児童文学者、小川未明と杉みき子の関わりを二人の生い立ち、作品を通して紹介するとともに、特色ある二人の作家と二人を生んだ雪国上越の魅力を伝える文学資料、写真、絵画等を展示します。	上越市文化振興課 Tel.025-526-6903
町家見学会	9月26日(日)	旧今井染物屋、旧金津憲太郎橋店	町家スタッフが高田の町家の魅力について説明します。	上越市文化振興課 Tel.025-526-6903
吉川観光協会長杯争奪 パラグライダー大会	9月26日(日) (予定)	吉川区・尾神岳エリア	尾神岳エリアを利用しているフライヤーを中心とした地元観光協会主催のパラグライダー大会です。	吉川観光協会 (スカイトピア遊ランド) Tel.025-547-2221
市民親善ゴルフ大会	9月26日(日)	市内及び近隣のゴルフ場	市内や近隣の7つのゴルフ場で、約600人が参加するゴルフ大会。夕方には1つの会場で表彰式とパーティーを行い、ゴルフ愛好者の交流を図ります。	事務局 (上越市体育協会) Tel.025-525-4119

※イベント内容は変更になる場合があります。事前にご確認ください。

上越市の施設

上越市の施設を割引で利用できます。利用の際には
会員証を提示してください。()内は会員の割引料金です。



氏名：越後太郎 会員No. 00001

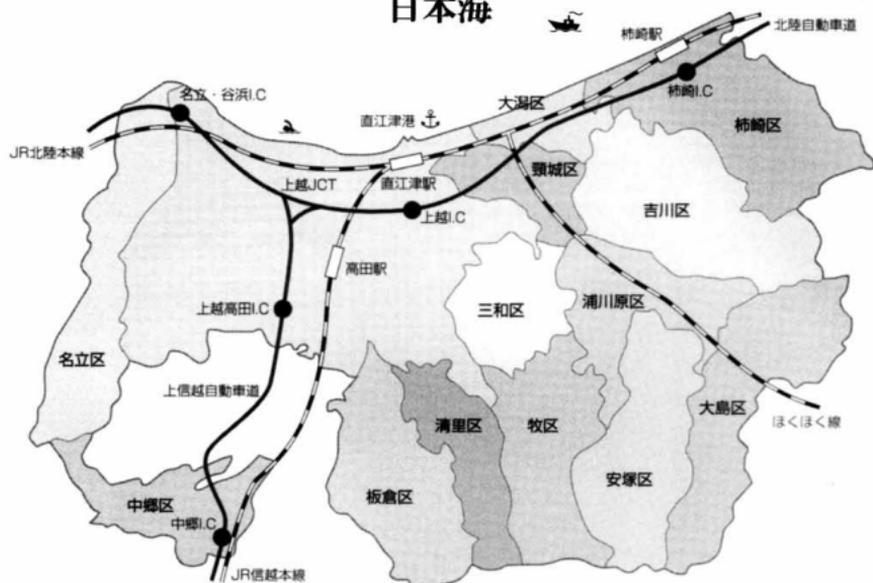
施設名	住所	電話番号	料金(一般・個人料金)
リージョンプラザ上越 (アイスアリーナの貸靴料を除く)	下門前446-2	025-544-2122	レジャープール 400円(200円) アイスアリーナ 800円(400円) インドアスタジアム 100円(50円) 市民プール 300円(150円)
上越科学館	下門前446-2	025-544-3939	400円(200円) 特別展期間:600円(300円)
五智公園キャンプ場 (バンガロー使用料)	五智6丁目	申込先:市役所都市整備課 025-526-5111 管理棟 025-545-9503	1泊3,500円(1,750円)
交通公園ゴーカート	五智6-1569	025-543-5948	2人乗り200円(100円)
高田城三重櫓	本城町6-1	025-526-5915	200円(100円)
日本スキー発祥記念館	大貫1453-1	025-523-3766	300円(150円)
坂口記念館	頸城区鶴ノ木148	025-530-3100	200円(100円)
くるみ家族園	東中島2487	025-544-7440	浴場400円(200円)
市民いこいの家	石橋1-1-3	025-545-5270	浴場250円(120円)
金谷山スキーリフト スーパーボブスレー	大貫595-2	025-525-4295	リフト100円(50円) ボブスレー100円(50円)
浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ	浦川原区小谷島1217-1	025-599-3810	500円(250円)
吉川緑地等利用施設	吉川区尾神588-1	025-547-2545	スライダー400円(200円)
吉川スカイトピア遊ランド	吉川区坪野1458-2	025-547-2221	入館料(入浴)400円(200円)
三和米と酒の蔵蔵	三和区大867-1	025-532-4189	300円(150円)
シーサイドパーク名立	名立区名立小泊798-1	025-537-2121	ビッグボブスレー200円(100円)
海洋フィッシングセンター (えさ代を除く)	虫生岩戸719地先	025-544-2475	使用料100円(50円) 貸し竿200円(100円)
かやぶき美術館	安塚区安塚804-4	025-592-2048	300円(150円)
上越清里星のふるさと館	清里区青柳3436-2	025-528-7227	入館料300円(150円) プラネタリウム料金300円(150円)
水族博物館	西本町4-19-27	025-543-2449	900円(450円)
総合博物館・小林古径記念美術館	本城町7-7	025-524-3120	300円(150円)
牧歴史民俗資料館	牧区宮口1483-1	025-533-5117	200円(100円)
板倉郷土館	板倉区針842-1	025-578-4354	100円(50円)
清里歴史民俗資料館	清里区岡野町1580	025-528-3111	100円(50円)
小林古径邸	本城町7番1号	025-525-2429	200円(100円)



上越市マップ



日本海



面積 973.54km² (シンガポールの1.4倍)

人口 208,082人

世帯 69,160世帯

(平成17年国勢調査)

編集後記

今年の天候不順には大変悩まされました。恒例の春の観桜会は数日遅れの開花と寒さに閉口いたしました。梅雨入りも遅れ、農作物にも悪い影響が現れているようです。

こんな中も、Jネットは着々と計画通りの行事をこなしてきました。1月の文化講演会で市長さんによる市政への取り組みを聞き、4月のふるさと交流会（観桜会）では多くの人に参加を頂き、5月の総会と小柳仁先生の特別講演では記録的に多数の参加を頂きました。

会報29号をお届けします、御笑覧下さい。会報は皆様からの投稿やご意見で、面白く楽しいものになります、ぜひ良い会報作りに参加して下さい。皆様からのお便りをお待ちしております。

もうすぐ梅雨も明け、猛暑がやってきます。ご自愛下さい。

運営委員 岡村博己



●発行

ふるさと上越ネットワーク事務局（社会システム株式会社 分室内 東京事務所）
〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-16-6 二葉ビル6階・6B号
TEL.03-6415-6277 FAX.03-6415-6299
E-mail : jnet_tokyo@crp.co.jp
URL : <http://www.joetu.gr.jp/>

本庁担当（自治・市民環境部 共生まちづくり課）
〒943-8601
新潟県上越市木田1-1-3
TEL.025-526-5111（内1406） FAX.025-526-8363
E-mail : j-net@city.joetu.lg.jp

【皆様からの情報をお待ちしています】 TEL 03-6415-6277（Jネット事務局）
